取扱説明書

REGZA

地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ

形名 23S8／32S8／40S8

お客様登録サービス「Room1048（ルームトウシバ）」に登録をお願いします！

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※お客様登録は、Web限定のサービスです。

※キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

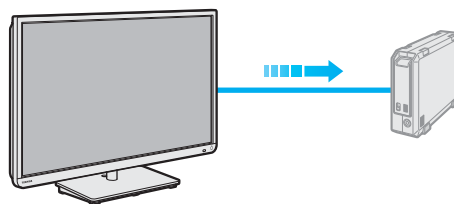
>>>ご登録はこちらから!<<<
http://toshibadirect.jp/room1048/

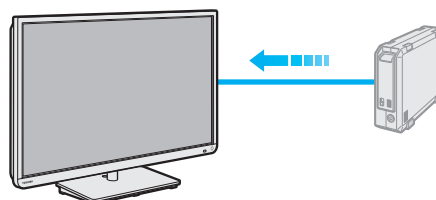
- 必ず最初に「安全上のご注意」 をご覧ください。
- 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

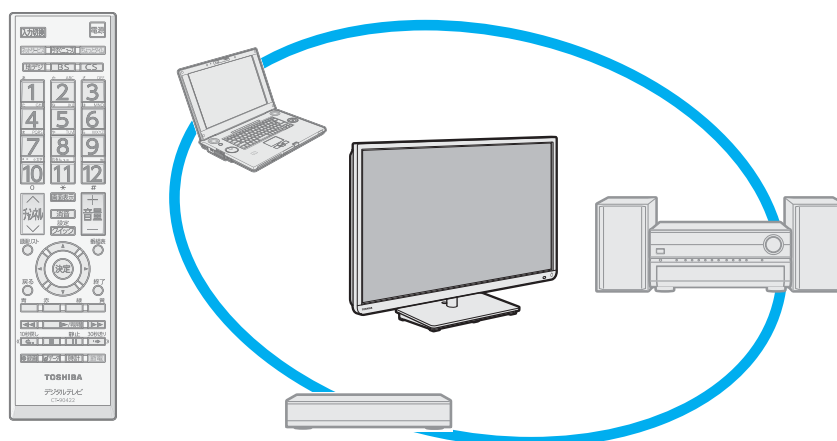
このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

本機の特長 ～こんなことができます～

録画する ➡ 41 ～ 50ページ

市販のUSBハードディスクに
デジタル放送の録画･予約ができます。

見る ⇨ 51 ～ 55ページ

USBハードディスクに録画した
番組の再生ができます。

接続機器の映像･音声を楽しむ（HDMI連動） ➡ 57 ～ 60ページ

HDMI連動対応機器を本機のリモコンで操作することができます。

そのほかに、こんなことができます

タイマー機能 38

●リモコンの オフタイマー を押して、簡単にオフタイマーの設定ができます。
タイマー設定のメニューからは、オンタイマーの設定ができます。
オフタイマー: 設定した時間が経過すると本機の電源が切れます。
オンタイマー: 設定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源がはいります。

番組表機能

●デジタル放送の番組表を表示させ、見たい番組を探したり、予約したりすることができます。32 46
（7チャンネル/5チャンネルの表示切換ができます）

多彩な映像メニュー

●周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質で表示される「おまかせ」のほかに、周囲の環境や映像に合わせて選択できる「あざやか」、「標準」、「ライブプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」などの多彩な映像メニューが用意されています。65
●お好みに合わせて調整することもできます。65～66

もくじ

ご使用の前に

テレビを見る

準備をする 17

テレビを楽しむ 28

録画・予約・再生をする

接続機器の映像・音声を楽しむ

つづく

もくじ つづき

インターネットに接続する

映像・音声を調整する

各種機能を設定する

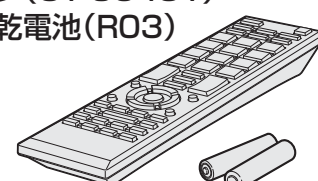
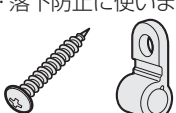
困ったときには

その他

この取扱説明書内のマークの見かた

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語の説明をしています。（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

- この取扱説明書は、23S8、32S8、40S8で共用です。共通箇所で記載しているイラストは32S8のものです。他の機種はイメージが多少異なります。

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド(23S8、32S8) ● テレビ本体に取り付けます。 17	1式 (ネジ6本*)
スタンド(40S8) ● テレビ本体に取り付けます。 18	1式 (ネジ10本*)
電源コード(40S8)	1本

付属品/名称	付属数
リモコン(CT-90451) 単四形乾電池(R03)	リモコン 1個 乾電池 2個
ネジ、クリップ ● テレビの転倒・落下防止に使います。 20、21	各1個
miniB-CAS(ミニビーキャス)カード ● miniB-CASカードはテレビ本体の背面に貼付された袋の中にあります。テレビ本体に挿入します。 19	1枚
取扱説明書(本書) かんたんガイド スタンド取付説明書 ファーストステップガイド 「お客様登録サービス」のチラシ	各1部

＊ 付属のネジは機種によって異なります。

23S8	M4小ねじ、長さ12mm（6本）
32S8	M4小ねじ、長さ12mm（4本）／ M5小ねじ、長さ14mm（2本）
40S8	M3小ねじ、長さ6mm（2本）／ M4小ねじ、長さ8mm（4本)、長さ12mm（4本）

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷[*1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定されること”を示します。

＊1： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2： 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

安全上のご注意 つづき

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
禁　止	**“⃠”は、禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	**“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	**“△”は、注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

禁　止

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

安全上のご注意　つづき

⚠警告

設置するとき　つづき

■ **振動のある場所に置かない**

振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ **電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む**

指　示

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ **電源コードは、本機の付属品を使用する(40S8)**

指　示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ **本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない(40S8)**

禁　止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ **上に物を置いたり、ペットをのせたりしない**

上載せ禁止

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ **miniB-CASカードを乳幼児の手の届く所に置かない**

放置禁止

- 誤って飲み込むと窒息またはけがのおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。
- miniB-CASカードは、台紙(説明書)から取り出し、すみやかに本機のminiB-CASカード挿入口に挿入してください。19

■ **転倒・落下防止の処置をする**

指　示

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは20をご覧ください。

■ **壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する**

指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

使用するとき

■ **修理・改造・分解はしない**

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ **電源コード・電源プラグは、**

禁　止

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ **異物を入れない**

異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ **雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない**

禁　止

感電の原因となります。

■ **包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する**

指　示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

お手入れについて

■ **ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する**

指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

- **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う**
  ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- **車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ 車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ テレビ台を使用するときは、

- **不安定な台を使わない**
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台のトビラを開けたままにしない**
- **耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない**

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意　つづき

⚠注意

使用するとき　つづき

■ **旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ **ヘッドホーンやイヤホーンを使用するときは、音量を上げすぎない**

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **リモコンに使用している乾電池は、**

禁　止

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ **液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない**

禁　止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ **テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない**

禁　止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります。(詳しくは、下の「お知らせ」をご覧ください)
テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは87☞をご覧ください。
(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」26☞をお読みください)

■ **1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください**

指　示

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ(ケミカルストレスクラック)の原因となる物もあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力（ビデオ入力、HDMI入力1～2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画･録音する際は、事前に試し録画･録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。（本機には録画番組のコピー機能はありません）
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
  - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

  著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「設定情報のリセット」75で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）なども含めて、初期化してください。
- 廃棄時にご注意ください
  家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

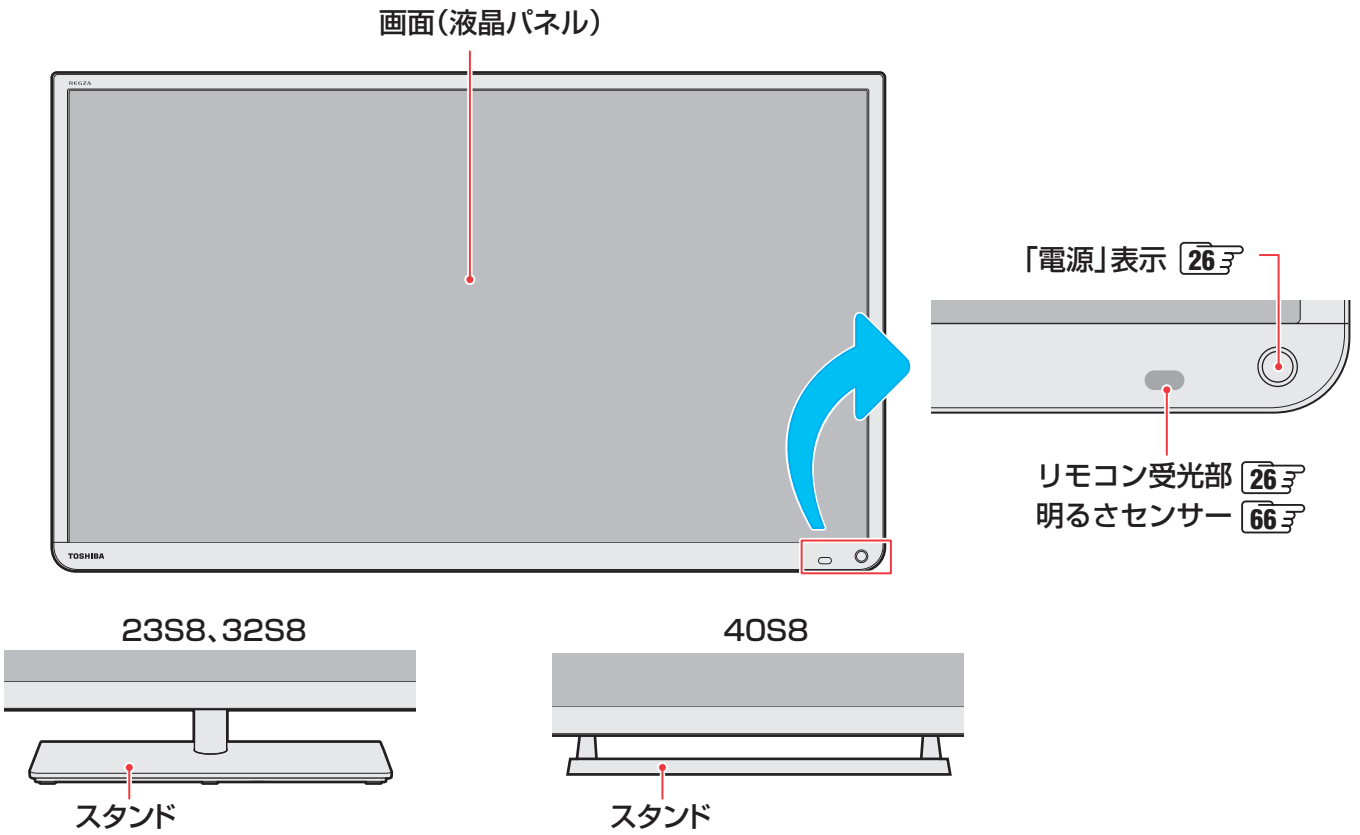
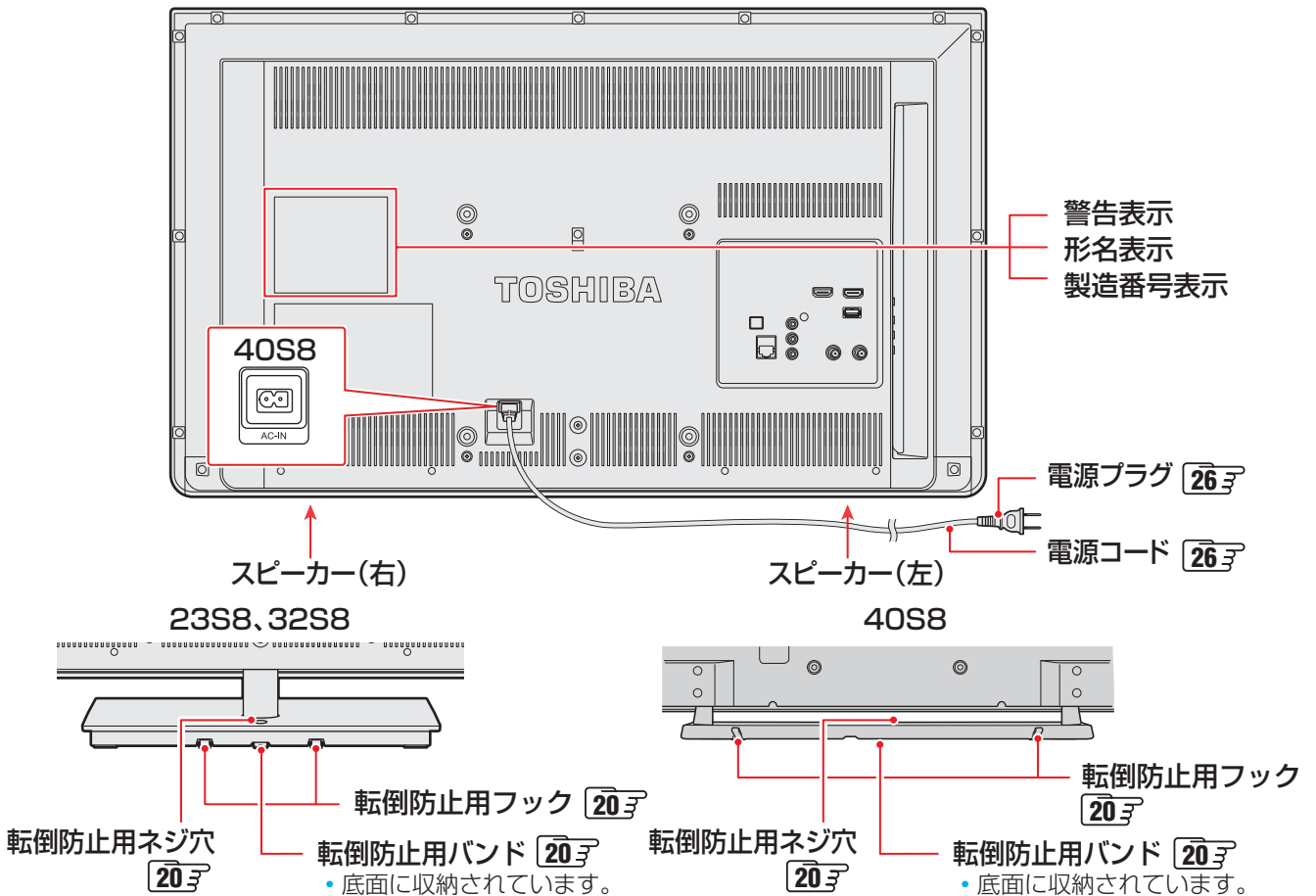
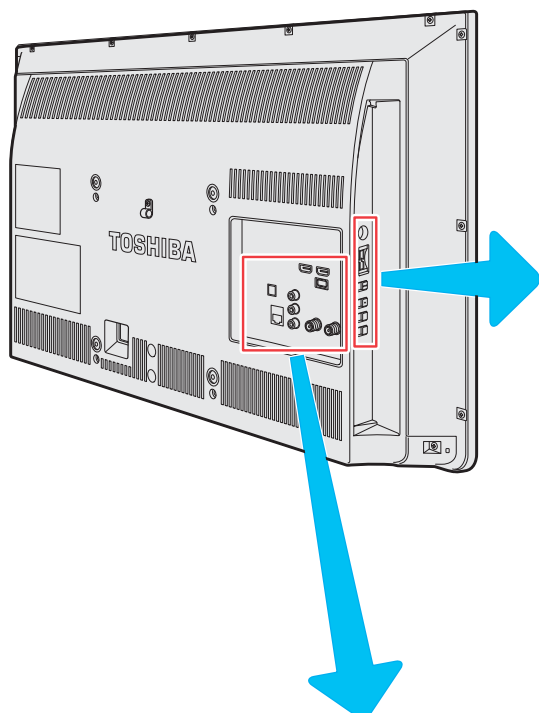
- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

ソフトウェアの更新について

- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
  本機の放送ダウンロードの予約機能を「自動ダウンロード」に設定しておくと、放送電波で送られる更新用のソフトウェアを本機が受信し、自動的にソフトウェアを更新することができます。（お買い上げ時は、「自動ダウンロード」に設定されています）

各部のなまえ

- 共通の製品イラストは32S8です。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは[☞]内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)

前面

背面

警告表示
形名表示
製造番号表示

40S8

AC-IN

TOSHIBA

電源プラグ 26☞

電源コード 26☞

スピーカー(右)

スピーカー(左)

23S8、32S8

40S8

転倒防止用フック 20☞

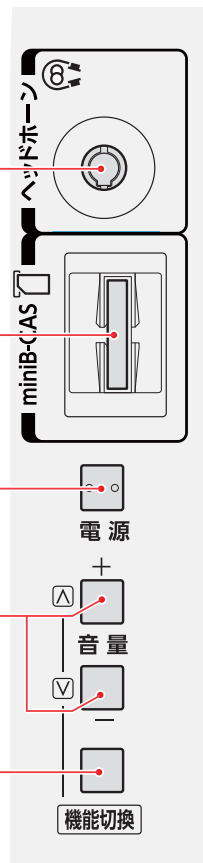
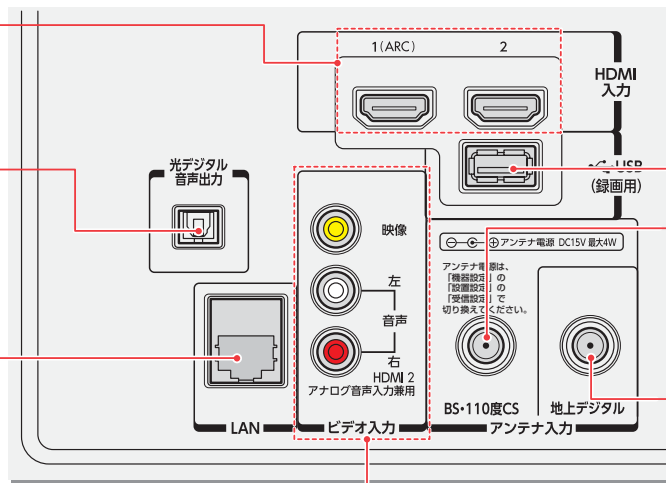
転倒防止用ネジ穴 20☞

転倒防止用バンド 20☞
• 底面に収納されています。

転倒防止用ネジ穴 20☞

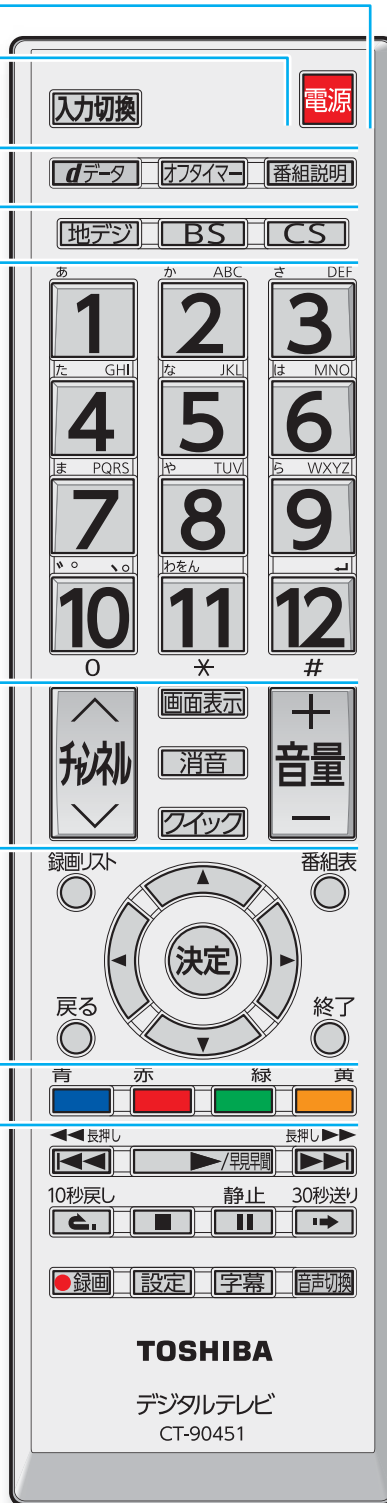
転倒防止用フック 20☞

転倒防止用バンド 20☞
• 底面に収納されています。

本体操作ボタンと入出力端子

各部のなまえ つづき

リモコン

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。（ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります）
- 詳しくは☞内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

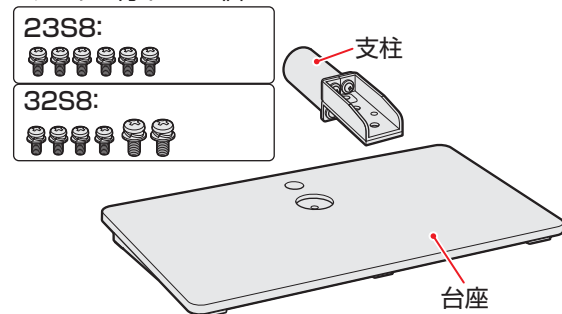
- 電源を入れる/待機にする……26
- 外部入力（HDMI1～2、ビデオ入力）機器の画面に切り換える……56
- 連動データ放送を見る……34
- オフタイマーを使う……38
- 番組説明を見る……31
- 放送の種類を切り換える……28
- チャンネルを選ぶ（ワンタッチ選局）……28
- 文字を入力する……39
- チャンネルを選ぶ（順次選局）……28
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る……31
- 音を消す……29
- クイックメニューを表示させる
- 音量を調節する……29
- 録画リストを表示させる（再生する）……51
- 番組表で番組を選ぶ（見る、予約する）……32
- メニューから選ぶ、決定する
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- 操作を終了する
- カラーボタン……多様な用途があります
- 再生、早見早聞再生をする……52
- 早送り、早戻し再生をする……52
- ワンタッチリプレイ（少し戻す）……52
- ワンタッチスキップ（少し進む）……52
- 録画や再生を停止させる……44 52
- 再生を一時停止させる……52
- 映像を静止させる……36
- 録画をする……44
- 設定メニューを表示させる
- 字幕を表示させる……29
- 音声を切り換える……36

スタンドを取り付ける　(23S8、32S8)

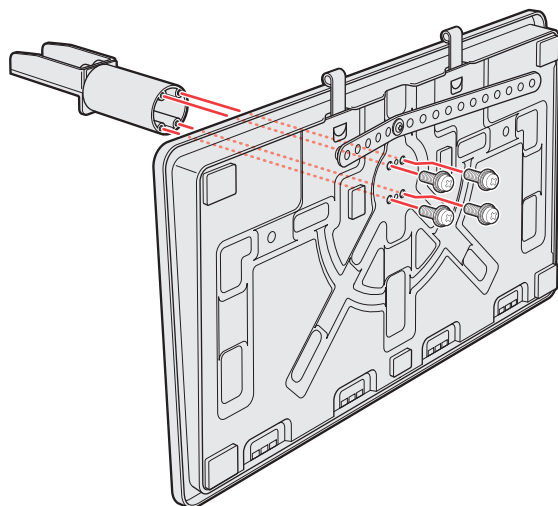
- このページの内容は、付属の別紙「スタンド取付説明書」の内容と同じです。
- 製品イラストは32S8です。他の機種はイメージが多少異なります。

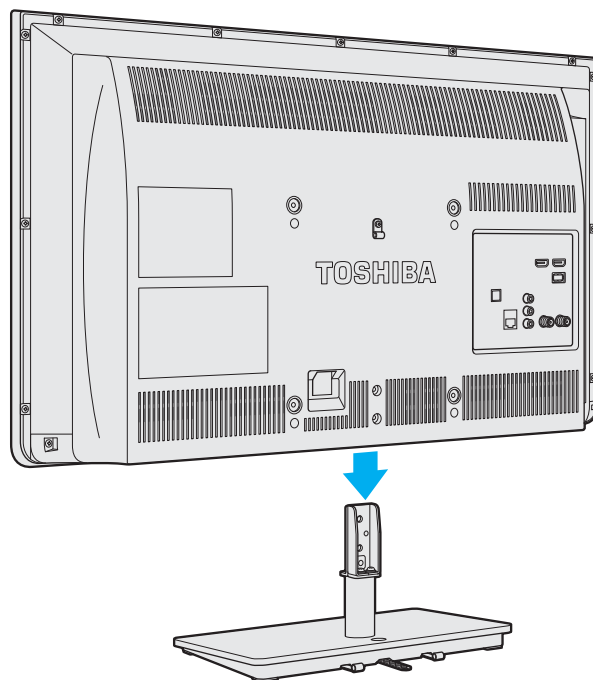
- スタンドを取り付けるまでの間、テレビ本体は包装箱の中で立てた状態にしておいてください。倒した状態で置くと、誤ってテレビの上に物を落としたときなどに、破損するおそれがあります。
- プラスドライバー(JIS 2番、直径6mm)をご用意ください。電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.5N·m(15kgf·cm)に設定してください。

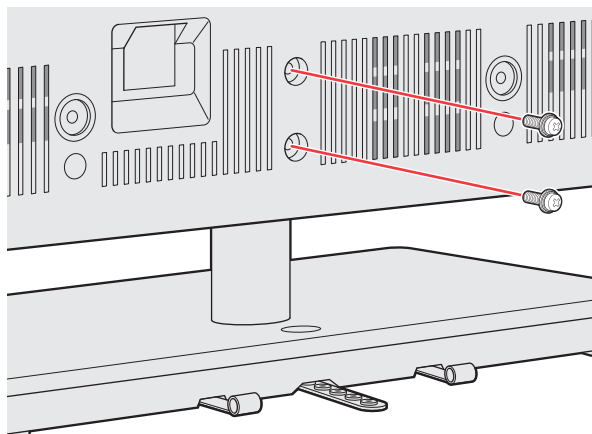
※ 製品についている保護フィルムやテレビ本体に固定されている電源コードは、テレビの設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。(図では省略しています)

1 スタンド組立用部品を確認する

- 以下の部品がそろっているか、ご確認ください。
  - 23S8：ネジ(小)×6
  - 32S8：ネジ(小)×4、ネジ(大)×2

2 スタンドを組み立てる

- ワッシャー付ネジ(小)4個で支柱を台座に取り付けます。

3 本体をスタンドに載せる

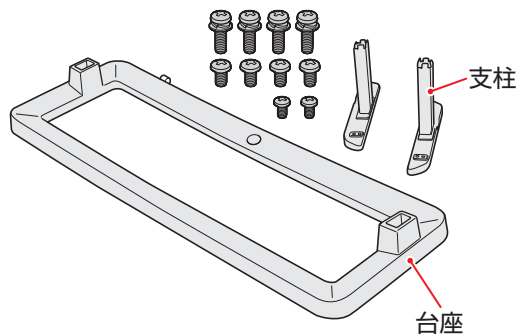
- 本体下部の溝に支柱が差し込まれるようにして載せます。
- **ネジで固定するまでの間、不意の転倒・落下を防ぐために本体を支えてください。**

4 本体とスタンドを本体取付用のワッシャー付ネジ2個で固定する

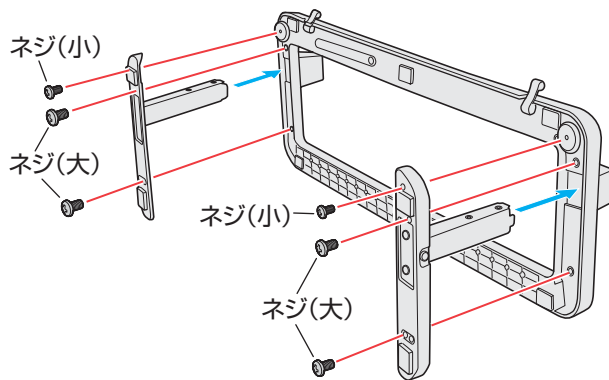
- 23S8：ネジ(小)2個
  32S8：ネジ(大)2個
- ネジはしっかりと締めてください。

スタンドを取り付ける　(40S8)

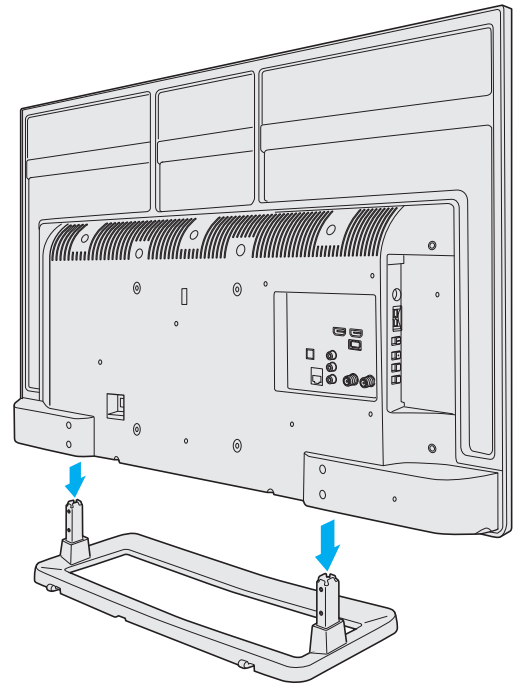
● このページの内容は、付属の別紙「スタンド取付説明書」の内容と同じです。

● スタンドを取り付けるまでの間、テレビ本体は包装箱の中で立てた状態にしておいてください。倒した状態で置くと、誤ってテレビの上に物を落としたときなどに、破損するおそれがあります。
● プラスドライバー(JIS 2番、直径6mm)をご用意ください。電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.5N·m(15kgf·cm)に設定してください。
※ 製品についている保護フィルムやテレビ本体に固定されている電源コードは、テレビの設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。(図では省略しています)

1 スタンド組立用部品を確認する

● 以下の部品がそろっているか、ご確認ください。
- ネジ(小)×2、ネジ(大:長さ8mm)×4、ワッシャー付ネジ(大:長さ12mm)×4

2 スタンドを組み立てる

● ネジ(小) 2個とネジ(大:長さ8mm)4個で支柱を台座に取り付けます。

3 本体をスタンドに載せる

● 本体下部の溝に支柱が差し込まれるようにして載せます。
● **ネジで固定するまでの間、不意の転倒・落下を防ぐために本体を支えてください。**

4 本体とスタンドを本体取付用のワッシャー付ネジ(大:長さ12mm) 4個で固定する

● ネジはしっかりと締めてください。

miniB-CAS（ミニビーキャス）カードを挿入する

- miniB-CASカードは、デジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体のminiB-CASカード挿入口に入れておいてください。
- 台紙（説明書）は裏面もよくお読みのうえ、たいせつに保管してください。
- 製品イラストは32S8です。他の機種はイメージが多少異なります。

挿入のしかた

1 miniB-CASロゴ印刷面を本体の背面側に向け、角が欠けたほうから差し込む

2 コインなどでカチッと音が鳴るところまで押し入れる

■ miniB-CASカードの取扱いについて
- miniB-CASカードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようにご注意ください。

- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
- 金色端子部が指紋がつくなど、よごれてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布でふき取ってください。

取り出しかた

1 コインなどでカチッと音が鳴るまで押す
- miniB-CASカードが少し出てきます。金色端子部に触れないように注意しながら取り出します。

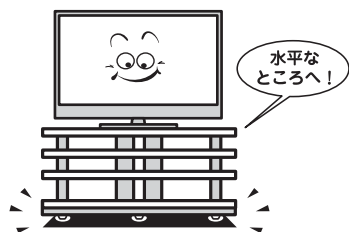
miniB-CASカードID番号記入欄

- 下欄にminiB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。
- miniB-CASカードのID番号は設定メニューで確認できます。86

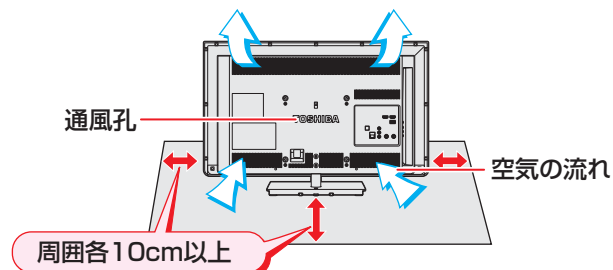
テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」 8 ～ 12 を必ずお読みください。

正しい置きかた

■丈夫で水平な安定した所に設置してください

■周囲からはなして置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

● 製品イラストは32S8です。他の機種はイメージが多少異なります。

■テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた（23S8、32S8）

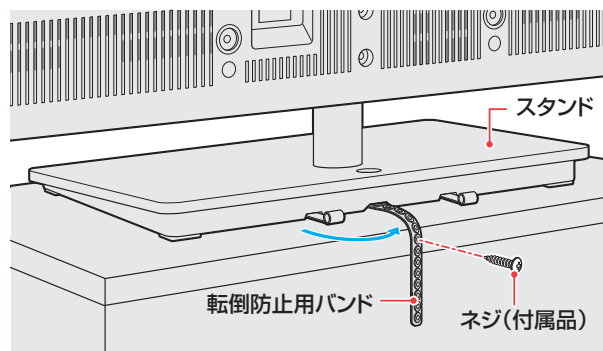
● 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

その他の転倒・落下防止方法

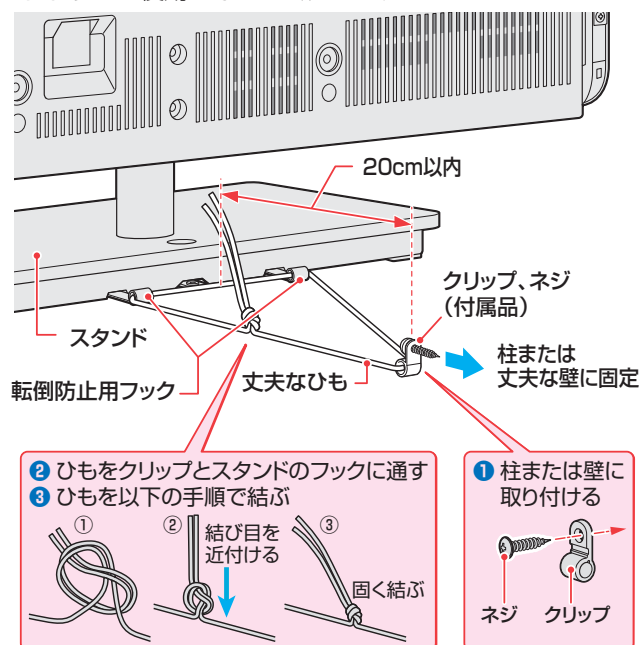
転倒防止用バンドを使用して固定するとき

● スタンド底面の転倒防止用バンドを後方に回転させ、設置する台の確実に支持できる背面に付属のネジで固定します。

※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近づけて設置し、お子様がはいれないようにしてください。

壁または柱などに固定するとき

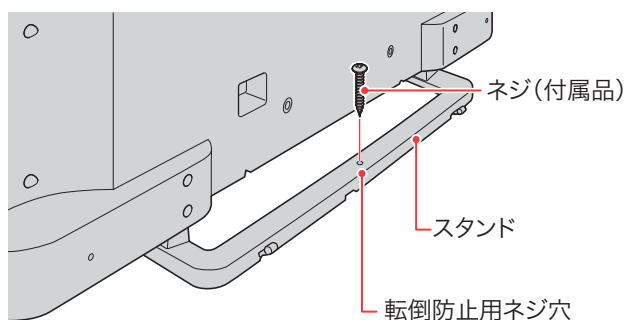
● スタンド背面の転倒防止用フックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで固定します。

● クリップはスタンド背面の転倒防止用フックと同じくらいの高さの場所に付属のネジで取り付けます。

※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因になりますので使用しないでください。

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

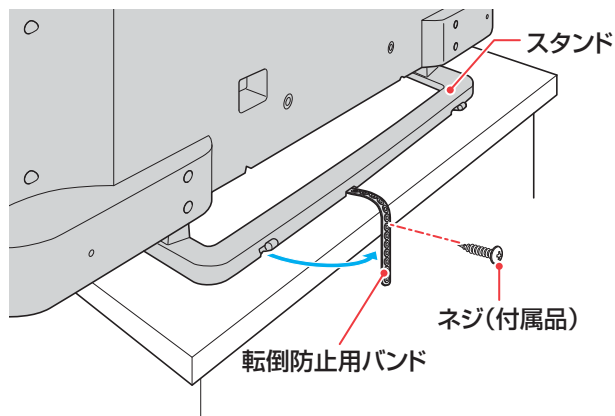
転倒・落下防止のしかた（40S8）

- 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

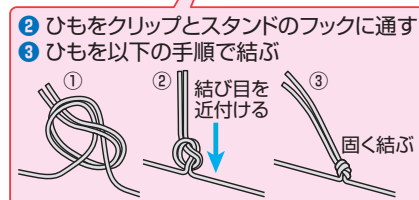
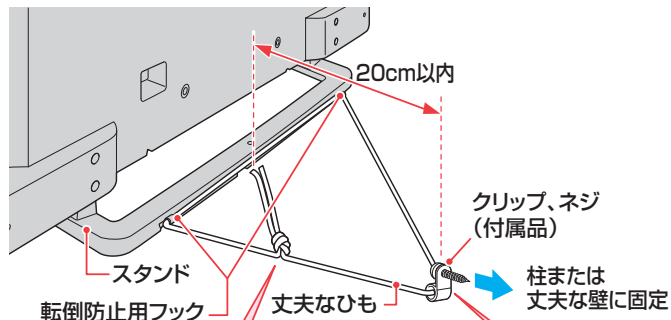
※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

その他の転倒・落下防止方法

転倒防止用バンドを使用して固定するとき

- スタンド底面の転倒防止用バンドを後方に回転させ、設置する台の確実に支持できる背面に付属のネジで固定します。

※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近づけて設置し、お子様がはいれないようにしてください。

壁または柱などに固定するとき

- スタンド背面の転倒防止用フックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで固定します。
- クリップはスタンド背面の転倒防止用フックと同じくらいの高さの場所に付属のネジで取り付けます。

※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因になりますので使用しないでください。

デジタル放送の種類と特徴

● 本機は以下の3種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

2003年12月から関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年末までにその他の都道府県の県庁所在地で開始された、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

● **UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です。**

● **本機は「CATVパススルー対応」です**
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

● 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。

● **BSデジタル放送**
デジタル方式の放送衛星（Broadcasting Satellite：通称BS）を使用したデジタル衛星放送です。
- **日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります**
- **2種類のデータ放送（連動データ放送、独立データ放送）や双方向サービスがあります**

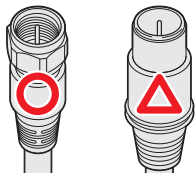
● **110度CSデジタル放送**
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星（Communication Satellite：通称CS）を利用して、スカパー JSAT株式会社が運用しているデジタル衛星放送です。
- **さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります**
- **多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です**
- **ラジオ放送が運用されることがあります**

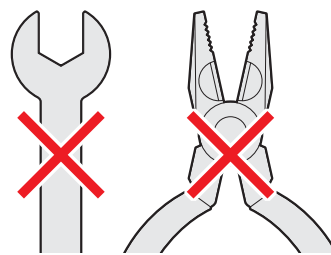
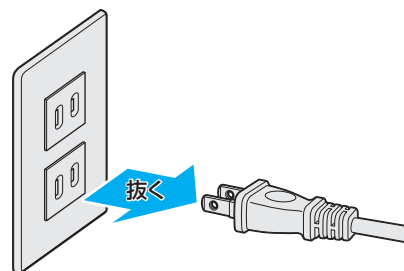
アンテナを接続する

お願いとご注意

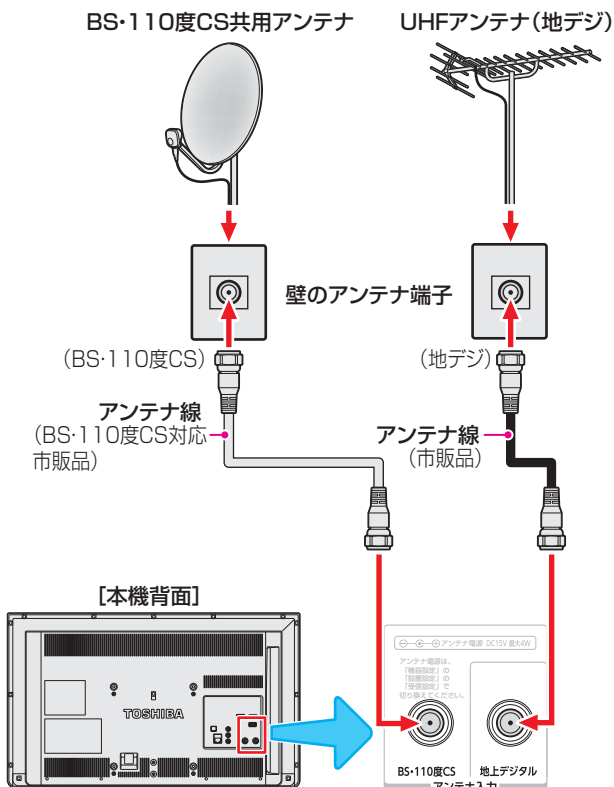
※ **アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。**

● **アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。**
機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類（電波の種類）などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

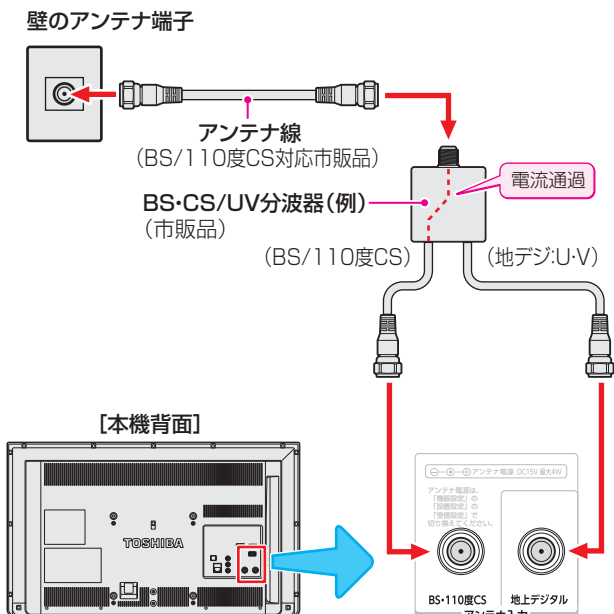
● **F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。**
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、ときどき映らなくなったりすることがあります。

● **F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。**曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

● **アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。**
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。

● **アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

アンテナを接続する つづき

● 共通の製品イラストは32S8です。他の機種は多少イメージが異なります。

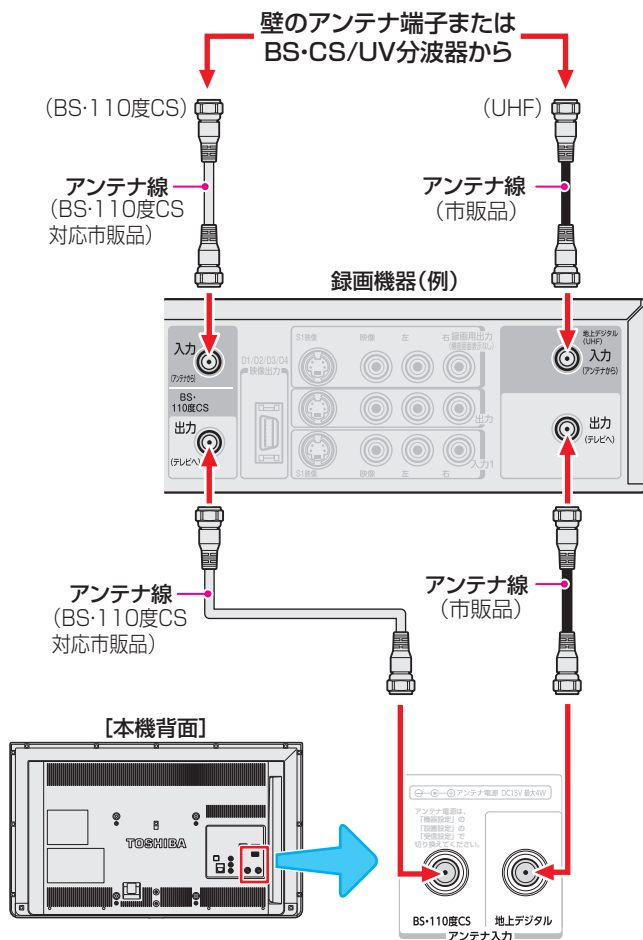
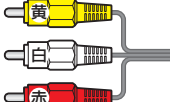
地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合

地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合（マンションの共聴アンテナなど）

● 地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。

● マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

● BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。
BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません。（「かんたん設定」27のあとで「アンテナ電源」を「オフ」に設定してください。詳しくは69をご覧ください）

録画機器を経由する場合

● 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビが映らないとき

● 「かんたん設定」27をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
- 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。

● 症状が改善されない場合は、「アンテナを調整する」69をご覧ください。

● 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、「外部機器を接続する」24をご覧ください。

外部機器を接続する

映像機器接続例

- 共通の製品イラストは32S8です。他の機種は多少イメージが異なります。

HDMIケーブルだけで音声が出ない機器の場合

- HDMIケーブルだけで音声が出ない機器の場合、本機から音声を出すにはHDMIケーブルをHDMI入力2に接続し、ビデオ入力の音声入力端子に音声用コードを接続します。
- 音声設定メニューの「HDMI音声入力」(HDMI2)を「アナログ」に設定します。(ビデオ入力への映像機器接続はできなくなります) 61

音声機器接続例

※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。本機側に差し込むプラグの形状は、 です。

お知らせ

- HDMI連動対応の東芝レコーダー、東芝パソコンについては、ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては前ページをご覧ください。

■ パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているフォーマットの信号（91）を入力してください。（本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります）
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

● 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
● 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。また、外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。(標準HDMI®ケーブルでは、正常に動作しないことがあります)

接続ケーブル(接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル(入力用)	画質・音質ともに最高	**デジタル映像信号** 480i、480p、720p、1080i、1080p **デジタル音声信号** リニアPCM サンプリング周波数：48kHz、44.1kHz、32kHz
オーディオ用光デジタルケーブル(出力用)	最高の音質	**デジタル音声信号(光)** リニアPCM サンプリング周波数：48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数：48kHz、44.1kHz、32kHz
映像・音声用コード(入力用) 黄 白 赤	画質・音質ともに標準	**アナログ映像信号** 480i **アナログ音声信号**
音声用コード(入力用) 白 赤	標準の音質	**アナログ音声信号**

● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本機のHDMI入力端子について
● 本機にはHDMIおよびDVI機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
● DVDなどの再生時に、音声の出始めが少し途切れることがありますが、これはデジタル信号の判定のためで故障ではありません。

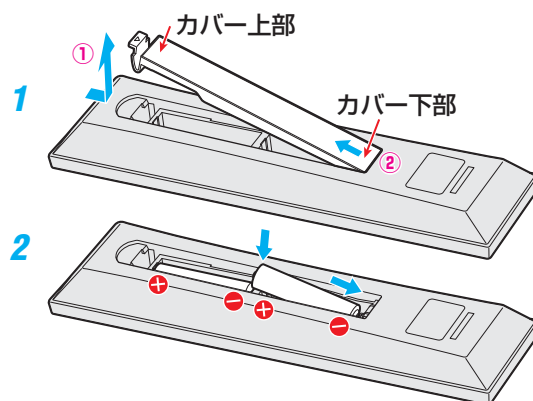
リモコンの準備をする

乾電池を入れる

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。
お買い上げ時は単四形乾電池R03が2個付属されています。

1 電池カバーをはずす
● カバー上部のツメをカバー下部方向に押しながらすくい上げ、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる
● 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める
●カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

リモコンモードについて

● 本機のリモコンは、リモコンモードの切換ができます。74
● お買い上げ時は「リモコンモード1」に設定されています。
※「リモコンモード2」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンモード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

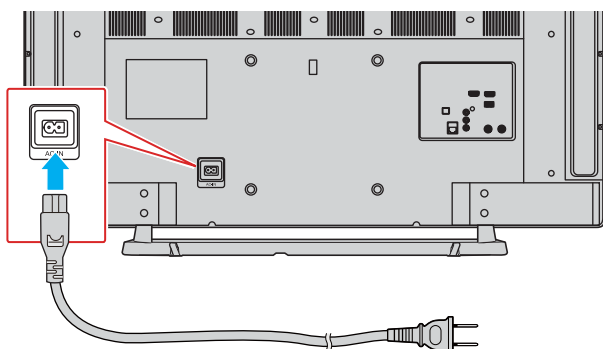
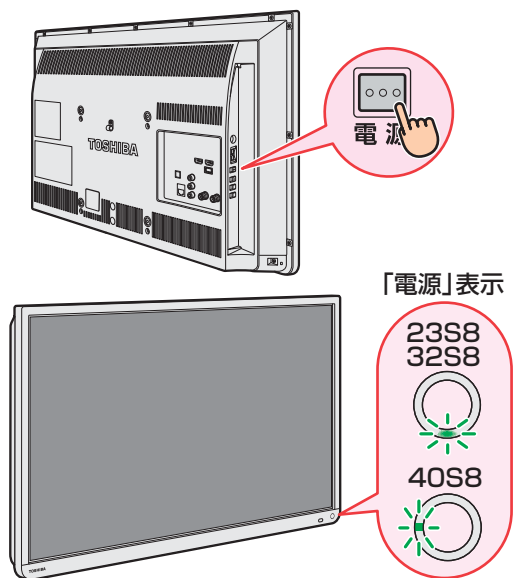
■ 乾電池について
● 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2個とも新しい乾電池と交換してください。
● 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

● アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

● 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

■ 40S8の場合
電源コードを本体背面のAC-IN端子にしっかりと接続してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 本体の電源ボタンを押す

● 電源がはいり、本体前面の「電源」表示が緑色に点灯します。
● もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。

はじめて電源を入れたとき

● 「かんたん設定」の画面が表示されます。
次ページ以降の手順に従って設定してください。

リモコンで電源を入/待機にするには

● 電源「入」のときにリモコンの 電源 を押すと「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
● 「待機」のときにリモコンの 電源 を押すと電源がはいり、「電源」表示が緑色に点灯します。

※ **本体の電源ボタンで電源を切っているときは、リモコンで電源を入れることはできません。**
電源が「切」のときは、「電源」表示が消えています。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

● 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。

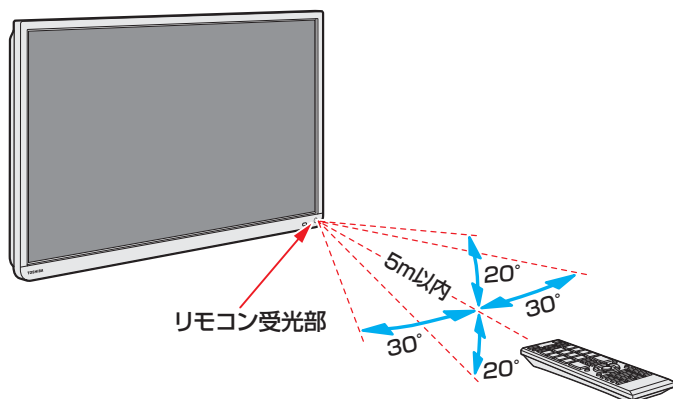
❶本機に接続したUSBハードディスクで録画をしている場合は終了させる
● 「予約を確認する」48 の手順で確認してください。

❷録画予約が設定されていないか確認する
● 「予約を確認する」(48)の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。

❸本体の電源ボタンを押して電源を切る

❹電源プラグをコンセントから抜く

リモコンの使用範囲について

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。

● リモコン受光部から
距離……5m以内
角度……左右30°以内、上下20°以内
※ リモコン発光部は二ヵ所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

■リモコンについて
● 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
● 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
● 分解しないでください。
● 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

「かんたん設定」をする

「かんたん設定」について

※ miniB-CASカードが正しく挿入されていないと「かんたん設定」ができません。あらかじめご確認ください。19

はじめて電源を入れたとき、「かんたん設定」の画面が表示されます。

操作のしかた

▲·▼·◀·▶で項目を選び、決定で決定して進んでいきます。

設定する項目によっては、1～10(0)も使います。

「かんたん設定」の流れ

● 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。

画質設定
いくつか用意されている映像メニューの中から選んで、お好みのメニューに設定します。

▼

郵便番号
郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。 ● 間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

▼

県域設定
お住まいの地域を選びます。

▼

miniB-CASカードテスト
miniB-CASカードのテストをします。

▼

地上デジタルチャンネル設定
お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

▼

衛星アンテナ設定
BS、110度CS放送を受信する衛星アンテナの設定をします。

▼

「かんたん設定」は終了です。

「かんたん設定」をやり直すとき

● 「かんたん設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「かんたん設定」をやり直すことができます。

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「かんたん設定」の順に進む**

● 「かんたん設定」の説明画面が表示されます。

2 **画面の表示に従って、設定する**

● 設定が終了したら、終了を押します。

■「地上デジタルチャンネル設定」について

● 「かんたん設定」または「初期スキャン」70をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを本機が探し、リモコンの1～12に自動設定します。（「かんたん設定」または「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）

■ 地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、「かんたん設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。

● チャンネル設定の地域は必ずしもお住まいの地域とは限らないため、地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

メニュー操作手順の表記について

● 目的のメニューが表示されるまでの手順を簡略化して記載しています。

例に示す記載は、以下の手順内容を簡略表記しています。

1. 設定を押す
2. ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す
3. ▲·▼で「画面の設定」を選び、決定を押す

● 設定終了後にメニューを消す操作の説明を省略しています。

設定が終了したら、終了を押します。

例：

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む**

テレビ番組を楽しむ

● 本体の操作ボタンについては、「本体の「機能切換」ボタンについて」29 をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS で放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

● 以下の3とおりの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

● ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 で選局します。（下の「お知らせ」をご覧ください）

チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

● チャンネル でチャンネルが順次に切り換わります。

- 「選局対象」の設定（71）をすると、選局できるチャンネルの順番を変更することができます。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

● チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ クイック を押し、▲·▼で「３桁入力選局」を選び 決定 を押す

❷ 1 ～ 10(0) でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨ 1 10(0) 3 の順に押します。（「0」は 10 で入力）

- 番号を間違えて入力したときは、黄 を押します。

■ 枝番のついた放送を選局するとき

❶ クイック を押し、▲·▼で「枝番選局」選んで 決定 を押す

❷「枝番選局」画面から見たい放送を選んで 決定 を押す

● 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 32 で確認することができます。

● 1 ～ 12 でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。（「チャンネルをお好みにマニュアル（手動）で設定する」（71）で変更できます）

- 地デジ を押したとき→「かんたん設定」（27）で各ボタンに登録されたチャンネル
- BS を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
- CS を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル

● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。

● 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」（73）をご覧ください。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの［＋音量－］または本体の［音量］を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの［消音］を押す

- 画面左下に［消 音］が表示されます。もう一度［消音］を押すと音が出ます。

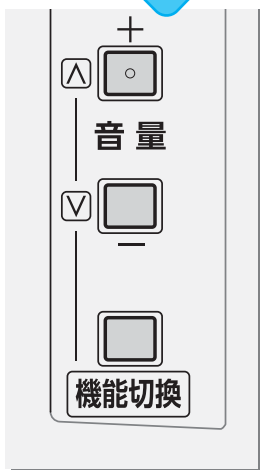
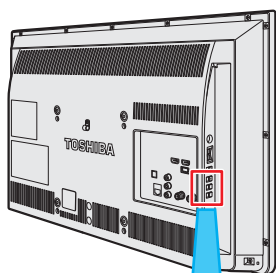
字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ ［字幕］を押す

- ボタンを押すたびに、字幕の表示／非表示が切り換わります。

本体の「機能切換」ボタンについて

- 本体にある［音量］ボタンは通常「音量調節」（上記）ですが、［機能切換］を押すたびに、機能が切り換わります。

1 ［機能切換］を押す

- ［機能切換］を押すと画面左上に現在選択している機能が表示されます。
  希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順**2**の操作をします。
- ［機能切換］を押したあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 ［機能切換］を繰り返し押して機能を選び、［音量］で切換えまたは調節をする

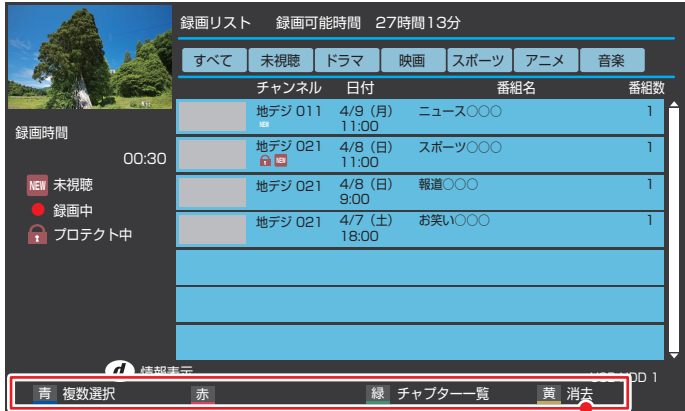
- ［機能切換］を押すたびに以下のように機能が切り換わります。

→チャンネル切換→放送切換→入力切換→表示なし（音量調節）

- **チャンネル切換**……チャンネルが順次に切り換わります。
- **放送切換**………………「地デジ」、「ＢＳ」、「ＣＳ」が順次に切り換わります。
- **入力切換**………………入力が順次に切り換わります。56

テレビ番組を楽しむ つづき

操作ガイドについて

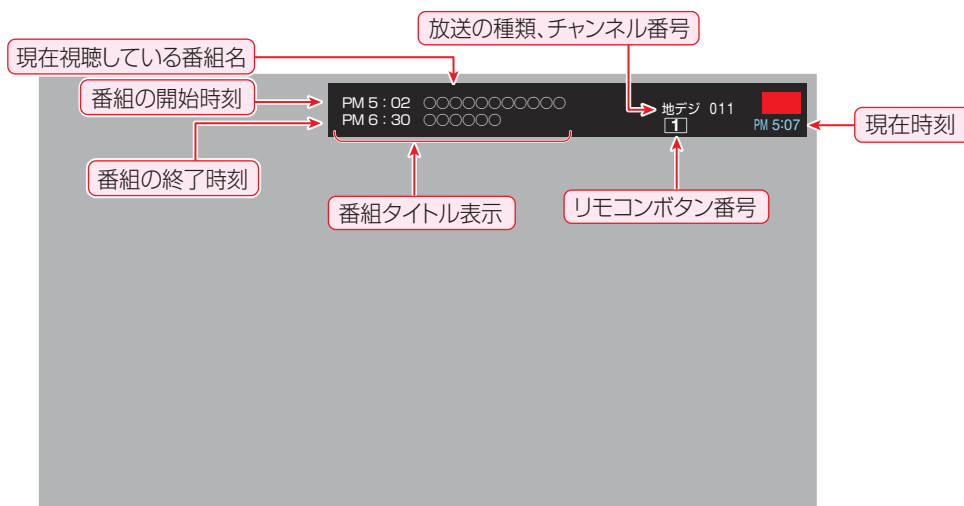
- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やクイックに割り当てられています。

戻る 戻る、カーソルなどの表示

操作中に選んだり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。

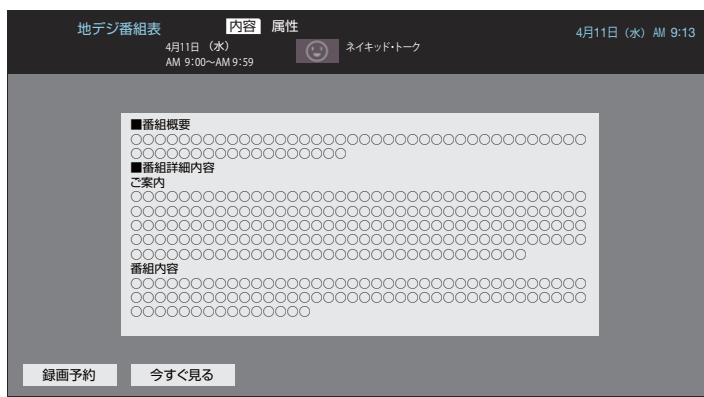
番組情報を見る

番組情報を見る

1 **画面表示を押す**

- 現在視聴しているチャンネルや番組の開始時間と終了時間の情報が表示されます。（番組タイトル表示は数秒後に消えます）
- 現在視聴している番組の終了時刻3分前からは、次の番組名も表示されます。
- 表示を消すには、画面表示をもう一度押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

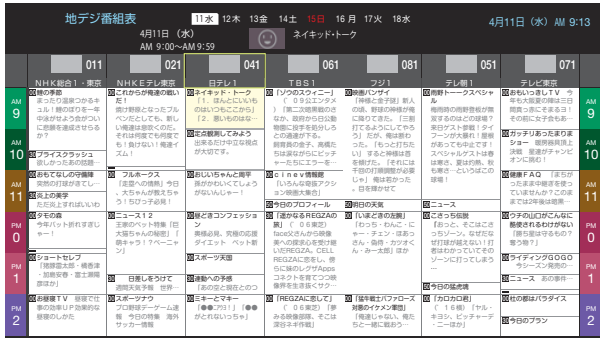
1 **番組説明を押す**

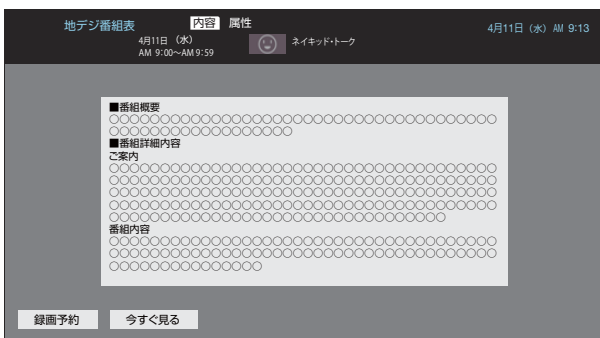
- 現在視聴している「番組内容」画面が表示されます。
- 表示を消すには、番組説明をもう一度押します。
- 「番組内容」画面の操作については、「「番組内容」画面を使う」 33 をご覧ください。

- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSを押します。
- データ放送やラジオ放送の番組も番組表に表示されます。（「表示内容」が「すべて」のとき：右の説明）
- 翌日の番組表を表示するときは、黄を押します。
  前日の番組表を表示するときは、緑を押します。
- 番組表を消すときは、終了を押します。

2 見たい番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

- 「番組内容」画面が表示され、番組の内容を確認できます。

3 現在放送中の番組を見るときは、「今すぐ見る」を選び、決定を押す

- これから放送される番組のときは、「今すぐ見る」は表示されません。
- 「視聴予約」を選ぶと、視聴予約が設定されます。46
- 「録画予約」を選ぶと、「録画予約設定」画面が表示されます。46

番組表を更新する

- 番組表の中が空欄になっているときは、以下の操作をします。

❶ 空欄になっている放送局を選んで、決定を押す

- クイックを押し、「番組データ取得」を選んで決定を押しても取得できます。

※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 録画中は番組情報の取得ができません。

- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

番組表に表示するチャンネル数を変更する

- 番組表に表示するチャンネル数を変更することができます。

❶ 番組表を表示中に、クイックを押す
❷ ▲･▼で「表示チャンネル数」を選び、決定を押す
❸ 表示したいチャンネル数を選び、決定を押す

番組表に表示する表示内容を変更する

- 番組表に表示する表示内容を変更することができます。

❶ 番組表を表示中に、クイックを押す
❷ ▲･▼で「表示内容」を選び、「すべて」、「設定チャンネル」、「テレビ」のどれか選んで決定を押す

- 「設定チャンネル」を選んだときは、「チャンネル設定」で設定したチャンネルのみが表示されます。

■ **表示されていないチャンネルを表示するとき**

番組と番組の間に表示されていない番組があるときは、青い線が表示されます。
▲･▼･◀･▶で青い線を選ぶと、番組が一時的に表示されます。

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

ジャンルを選んで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)を指定して、見たい番組を探すことができます。

❶ 番組表を表示中に、クイック押す

❷ ▲·▼と決定で「番組の検索」⇨「ジャンル検索」の順に進む

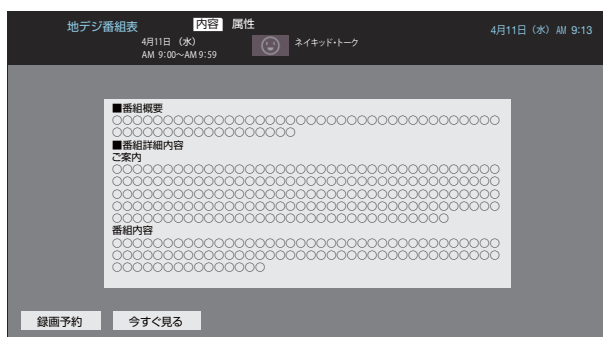
❸ メインジャンルを選んでからサブジャンルを選び、決定を押す

- 検索結果画面が表示されます。

❹ 番組を選んで、決定を押す

- 「番組内容」画面が表示されます。

「番組内容」画面を使う

「番組内容」画面について

- 「内容」は、番組内容が表示されます。
- 「詳細」は、情報があるときに、画像などで詳しい内容が表示されます。(情報が無いときは、表示されません)
- 「属性」は、放送方式などの情報が表示されます。
- 「内容」から「詳細」、「属性」へと右の項目に移動するときは、赤を押します。
  左の項目に移動するときは、青を押します。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **dデータを押す**
- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 **データ放送を終了するには、クイックを押し、▲·▼で「データ放送表示オフ」を選び、決定を押す**

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 **放送の種類を選ぶ**
- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、BSを押します。

2 **番組表を押して番組表を表示させる**
※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

3 **データ放送またはラジオ放送の番組を選び、決定を押す**
- 「番組内容」画面が表示されます。
- チャンネル∧∨やチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、dデータは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

■ 双方向サービスについて
- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（62～64）をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

便利な機能を使う

画面サイズについて

画面サイズのモード	画面の見えかた	説　明
オート	—	放送や入力信号に応じて、最適な画面サイズに自動で切り換えます。
フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
スーパーライブ	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
HDライブ		左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面の映像が左右に引き伸ばされます。
HDスーパーライブ※2	※3	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
HDズーム※2	※3	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 **設定 を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む**

2 **「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す**

3 **お好みの画面サイズをで選び、決定 を押す**

● 画面の見えかたについては、上の説明をご覧ください。

● このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
● 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
● 4:3の映像を「スーパーライブ」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）でご覧になれます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

便利な機能を使う つづき

オーバースキャンの設定をする

● 16:9の映像のときに、画面内に収めるか、少し大きめに表示させるかを設定します。

❶ 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む

❷「オーバースキャン」を選び、「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
- **オン**…… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。
- **オフ**…… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。

左右振幅切換を設定する

● 映像の両端にノイズ上のものが見える場合、画面の左右の幅を変更できます。
※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。

❶ 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む

❷「左右振幅切換」を選び、「標準」または「ワイド」を選び、決定を押す
- **標準**………画面内に収まるように表示させます。
- **ワイド**……左右を少し伸ばして表示させます。

上下画面調整を設定する

● 画面サイズのモードが「スーパーライブ」や「ズーム」のときの、上下の位置やサイズを微調整することができます。

❶ 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む

❷「上下画面調整」を選び、決定を押す

❸ 調整をして、決定を押す
●「スーパーライブ」のときは、3段階の調整ができます。
「ズーム」のときは、15段階の調整ができます。
※ 画面の拡大状況によって、上下位置の調整範囲が変わります。

SD画面モードを設定する

● 画面サイズのモードが「オート」のときの、4:3映像の表示のさせかたを設定します。

❶ 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「画面の設定」の順に進む

❷「SD画面モード設定」を選び、「ノーマル」または「スーパーライブ」を選び、決定を押す
● 映像信号が1080p、1080i、720pのときは働きません。

映像を静止させる

● 映像の動きを止めることができます。たとえば、料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときに便利です。

1 静止 を押す
● 映像が静止します。
● 解除するときは、もう一度 を押します。
● 操作をしないで約10分が経過すると、静止は解除されます。
● 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ
● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
● 予約が開始されると、静止は解除されます。
● 選局操作をすると静止画が解除されます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

他の映像・音声・データを切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。

1 音声切換 を押す
● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。
→ 主音声 → 副音声 → 主：副 ─
● クイックメニューの「信号切換」37 でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

● 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。

1 音声切換 を押す
● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。
→ 音声1 → 音声2 → 音声3… ─
● クイックメニューの「信号切換」37 でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、「番組内容」画面の「属性」で確認できます。33

1 クイック を押し、▲･▼で「信号切換」を選び、決定を押す

2 切り換える信号を▲･▼で選び、決定を押す

- 視聴中の番組で切り換えができない信号は、薄くなって表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像１
音声	日本語
二重音声	主
データ	データ１
字幕	オフ
字幕言語	日本語

3 視聴したい映像、音声、データを▲･▼で選び、決定を押す

番組のタイトル表示の設定を切り換える

- チャンネルを切り換えたときの、番組のタイトル表示のオン／オフを切り換えます。

1 設定 を押し、▲･▼と決定で「機器設定」⇨「表示の設定」に進む

2 「タイトル表示」を選び、「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- 「オン」を選ぶと、チャンネルを切り換えたときに、番組のタイトルを表示します。
  「オフ」を選ぶと、チャンネルを切り換えたときに、番組のタイトルを表示しません。

字幕の設定をする

- 字幕や文字スーパーの設定をします。
- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。

1 設定 を押し、▲･▼と決定で「機器設定」⇨「表示の設定」に進む

2 「字幕の設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼･◀･▶で「字幕」、「字幕言語」、「文字スーパー」、「文字スーパー言語」の設定をする

- **字幕**……字幕を表示させるときは、「オン」を選びます。表示させないときは「オフ」を選びます。
- **字幕言語**……字幕に表示する言語を、「日本語」または「英語」から選びます。
- **文字スーパー**……文字スーパーを表示させるときは、「オン」を選びます。表示させないときは「オフ」を選びます。
- **文字スーパー言語**……文字スーパーに表示する言語を、「日本語」または「英語」から選びます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

4 設定が終了したら、決定を押す

ヘッドホーンで聴く

- ヘッドホーンで聴くときの音の出かたを設定します。

1 設定 を押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 「ヘッドホーン出力モード」を選び、「通常モード」または「親切モード」を選び、決定を押す

- **親切モード**……ヘッドホーンとスピーカーの両方で音声を聴くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聴き取りにくい人がヘッドホーンまたはイヤホーンで聴くというような使いかたができます。
- **通常モード**……ヘッドホーンだけで音声を聴くモードです。ヘッドホーンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。

■ ヘッドホーンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、リモコンまたは本体の音量ボタンで音量を調節します。
- 「親切モード」に設定しているときは、スピーカーの音量はリモコンの音量ボタンで調整します。
  ヘッドホーンの音量は、本体の音量ボタンで調整します。

メニューでヘッドホーンの音量を調整する

- 設定メニューから、ヘッドホーンの音量を調整することもできます。

❶ 設定 を押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

❷ 「ヘッドホーン音量」を選び、◀･▶を押して音量を調整して、決定を押す

便利な機能を使う つづき

オンタイマーを使う

● 設定した時刻にテレビの電源を「入」にすることができます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「タイマー設定」⇨「オンタイマー」に進む

2 オンタイマーの設定をする

- **オンタイマー**…オンタイマーの「入」／「切」を設定します。オンタイマーの設定をするときは、「切」にして設定し、最後に「入」に設定してください。
- **時刻**……………電源を「入」にする時刻を設定します。リモコンの1 ～ 10 (0)ボタンで設定します。
- **音量**……………電源が「入」になったときの音量を設定します。
- **放送／入力**……電源が「入」になったときに表示する放送または外部入力を選びます。「設定しない」、「地デジ」、「BS」、「CS」、「すべての外部入力」から選びます。電源を切る前の放送または外部入力を表示させたいときは、「設定しない」を選びます。
- **チャンネル**……電源が「入」になったときに表示するチャンネルを設定します。「1」～「12」に設定されているチャンネルを選びます。
- **チャンネル名**…「チャンネル」で選んだ放送局名が表示されます。

● 設定した内容は、変更するまで保持されます。

3 設定が終了したら、決定 を押す

4 リモコンの 電源 を押して、電源を待機状態にする

● 本体前面の電源ランプが赤色に点灯します。

オンタイマーを途中で止めるとき

● オンタイマーで電源が「入」になる前に止めるときは、以下の操作をします。

❶ **テレビの電源を入れる**

❷ **「オンタイマーを使う」の手順1 ～ 2の操作をして、「オンタイマー」を「切」にして、決定 を押す**

■「オンタイマー」について

● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。

● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

オフタイマーを使う

●オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 オフタイマー を押して、電源を「切」にする時間を設定する

● ボタンを押すたびに、「30分後」、「60分後」、「90分後」、「オフ」に切り換わります。

● 電源が「切」になる3分前から「3分後」、「2分後」、「1分後」が点滅表示され、30秒前からは段階的に画面が暗くなり、音量が小さくなります。その間に操作をすると、画面と音量は元に戻りますが、オフタイマーは解除されません。

● オフタイマーの残り時間を確認するときは、オフタイマー を押します。

オフタイマーを途中で解除する

● オフタイマーを途中で解除するときは、以下の操作をします。

❶ **オフタイマー を繰り返し押して、「オフ」を選び、決定 を押す**

無操作オフを使う

● テレビの無操作状態が約4時間以上続くと、自動的に電源が「待機」になります。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「タイマー設定」⇨「無操作オフ」に進む

2 「入」を選び、決定 を押す

● 自動的に電源を「切」にします。

無信号オフを使う

● 約10分以上無信号状態が続くと、自動的に電源を「切」にします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「タイマー設定」⇨「無信号オフ」に進む

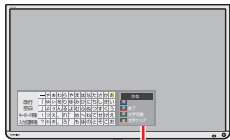
2 「入」を選び、決定 を押す

● 自動的に電源を「切」にします。

文字を入力する

● 文字の入力方法には、画面キーボード方式とリモコンボタン方式の２種類あります。
入力方法の切り換えは、「文字の入力方式を切り換える」（40）をご覧ください。

画面キーボード方式

● 画面に表示されるキーボードから文字や項目を選んで入力します。（お買い上げ時の設定）

	ー	ゃ	ぁ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゅ	ぃ	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青
空白	」	ょ	ぅ	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
キーボード移動	！	っ	ぇ	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換
入力位置移動	？	ゎ	ぉ	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

1 緑 を押して、入力文字種を切り換える

● 押すたびに、文字種が「かな」、「カナ」、「英数」に切り換わります。

2 ▲･▼･◀･▶でキーボードから文字を選び、決定を押す

● 上記を繰り返して、文字を入力します。

3 青 を押してから▲･▼漢字を選び、決定を押す

● 変換しないときは、赤 を押します。

4 文字入力が終了したら、赤 を押す

● キーボードが消えます。

変換方式を「予測方式」にしているとき

● 変換方式を「予測方式」にしているときは、上記手順2で候補が表示されます。
● 変換方式の切換は、「変換方式を切り換える」を（40）ご覧ください。

❶ ▲･▼･◀･▶でキーボードから文字を選び、決定を押す

● キーボードの上に候補が表示されます。

● 青 を押すと一時的に通常方式の変換に戻ります。

❷ ▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

文字を追加する

❶ キーボードの「入力位置移動」を選び、決定を押す
❷ 追加する位置に◀･▶でカーソルを移動し、決定を押す
❸ 文字を入力する

● カーソル位置の右側に文字が追加されます。

文字を削除する

❶ キーボードの「入力位置移動」を選び、決定を押す
❷ 削除する文字に◀･▶でカーソルを移動し、黄 を押す

リモコンボタン方式

● 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

1 1～12で文字を入力する

入力例：がっこう

➡ 2、10（が）、4(6回)（っ）、2(5回)（こ）、1(3回)（う）

● 文字に続けて10を押せば、濁点（゛）や半濁点（゜）の入力ができます。
● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい ➡ 1（あ）、▶、1(2回)（い）

● 入力文字種を変えるときは、緑（文字切換）を押します。
● 記号を入力するときは、「きごう」と入力して変換します。
● 文字を削除するときは、◀･▶で削除する文字にカーソルを移動し、黄 を押します。
● 文字を挿入するには、挿入する場所を▲･▼･◀･▶で選んで入力します。

2 以下の操作で文字を確定する

● **漢字に変換しないときは、決定を押す**
● **漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定を押す**

• 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀･▶で変え、▲･▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、決定を押す

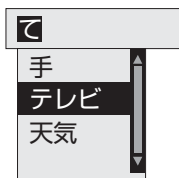
● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります

文字を入力する つづき

変換方式を「予測方式」にしているとき

- 変換方式を「予測方式」にしているときは、文字を入力すると候補が表示されます。
- 変換方式の切換は、「変換方式を切り換える」をご覧ください。

❶文字を入力する

- 1文字入力すると候補が表示されます。

- 緑を押すと一時的に通常方式の変換に戻ります。

❷▲･▼で選び、決定を押す

文字切換（入力文字種の切り換え）

「かな」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「英数」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「数字」	全角数字	全角の数字を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	かな	カナ	英数	数字
1	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→1	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ→1	@→.→/→:→˜→_ #→$→%→*→+→= →^→`→1	1
2	か→き→く→け→こ→2	カ→キ→ク→ケ→コ→2	a→b→c→A→B→C→2	2
3	さ→し→す→せ→そ→3	サ→シ→ス→セ→ソ→3	d→e→f→D→E→F→3	3
4	た→ち→つ→て→と→っ→4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→4	g→h→i→G→H→I→4	4
5	な→に→ぬ→ね→の→5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5	j→k→l→J→K→L→5	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ→6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6	m→n→o→M→N→O→6	6
7	ま→み→む→め→も→7	マ→ミ→ム→メ→モ→7	p→q→r→s→P→Q→R→S→7	7
8	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→8	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→8	t→u→v→T→U→V→8	8
9	ら→り→る→れ→ろ→9	ラ→リ→ル→レ→ロ→9	w→x→y→z→W→X→Y→Z→9	9
10	、→。→？→！→・→（→）→0	、→。→？→！→・→（→）→0	-→,→;→'→"→?→!→&→¥→|→(→)→<→>→[→]→{→}→0	0
11	わ→を→ん→ゎ→ー→スペース	ワ→ヲ→ン→ヮ→ー→スペース	スペース	＊
12	改行	改行	改行	＃

- 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

文字の入力方式を切り換える

- 文字の入力方式を、画面キーボード方式またはリモコンボタン方式に切り換えます。

1 設定を押し、▲･▼と決定で「機器設定」⇨「その他の設定」⇨「文字入力設定」の順に進む

2 「入力方式」で「画面キーボード」または「リモコンボタン」を選び、決定を押す

変換方式を切り換える

- 文字の変換方式切り換えます。

1 設定を押し、▲･▼と決定で「機器設定」⇨「その他の設定」⇨「文字入力設定」の順に進む

2 「変換方式」で「通常方式」または「予測方式」を選び、決定を押す

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機に接続した**USBハードディスク**に**デジタルテレビ放送番組**を録画できます。（独立データ放送番組、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1 ～ 2、ビデオ入力）からの映像・音声は録画できません）
  - USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。
  - HDMI連動対応の東芝レコーダーの接続は24 をご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの録画可能時間を確認します。（下の説明） ※ 残量不足や番組数超過（3000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。 54

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- USBハードディスクに録画や録画予約をするときは、登録が必要です。43 を参照し、登録してください。
- **USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。**

※ USBハードディスクの最大予約件数は64です。最大録画番組数は3000です。

録画モードと録画可能時間について

- 本機に接続した**USBハードディスク**に録画するときの録画モードは「**標準**」（放送そのままの画質）になります。
  USBハードディスクに録画するときの録画可能時間は「録画リスト」画面などで確認できます。51

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

録画モード ／ 容量	標　準		
	地上波デジタル HD 放送（≦ 17Mbps）	BS デジタル HD 放送（≦ 24Mbps）	BS デジタル SD 放送（≦ 12Mbps）
500GB	約 60 時間	約 43 時間	約 86 時間
1 TB	約 121 時間	約 86 時間	約 172 時間
2TB	約 242 時間	約 172 時間	約 344 時間

- 「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算されています。実際と異なる場合があります。

- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

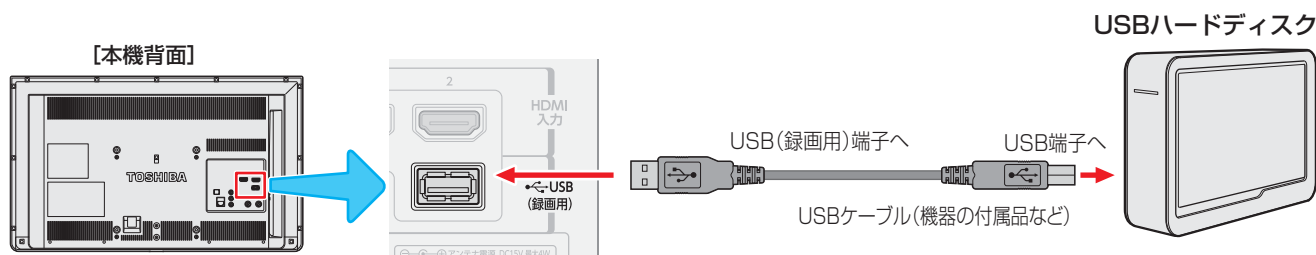
USBハードディスクの接続・設定をする

● 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

できること	記載ページ
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約	44

● 本機に録画用として登録できるUSBハードディスクは、160GB以上のUSBハードディスクです。
● パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
● 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
● 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、「USBハードディスクを取りはずす」43 の操作をしてください。
● USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
● 本機に登録して録画したUSBハードディスクを、他のテレビ（同じ型名のテレビを含みます）やパソコンなどに接続して再生することはできません。
● 故障で本機を修理した場合などは、USBハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。

USBハードディスクを接続する

● **USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。**本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。
● USBハードディスクは、USB（録画用）端子に接続します。

※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。
※ USBハブを使用した接続はできません。

● 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

● 本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza）をご覧ください。
● 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USBハードディスクを本機に登録する

※ USBハードディスクを録画用に登録すると、USBハードディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。

- **録画用に登録していないUSBハードディスクを接続したとき：** USBハードディスクを接続したときに、登録のメッセージが表示された場合は、表示に従って登録・設定をしてください。
- **接続しているUSBハードディスクを録画用に登録するとき：** 以下の手順で本機に登録します。

1 **設定を押し、▲・▼と決定で「機器設定」⇨「USB機器管理」に進む**

- USB機器一覧が表示されます。

USB 機器一覧

機器	接続	モデル名	表示名	モード	録画可能時間
1	接続	TOSHIBA ○○○○		未登録	
2	未接続	○○○○○○○	○○○○	登録［録画用］	○○:○○
3	未接続	○○○○○○○	○○○○	登録	○○:○○
4	未接続	○○○○○○○	○○○○	登録	○○:○○
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- **モードについて**
  USB機器一覧の「モード」には、USBハードディスクの登録モードが表示されます。
  登録［録画用］..... 録画・再生用に登録されています。このモードのUSBハードディスクに録画することができます。
  登録...................... 録画番組の再生用に登録されています。このUSBハードディスクに録画することはできません。
  未登録.................. 登録されていないUSBハードディスクです。録画用に登録すると、それまで「登録［録画用］」として登録されていたUSBハードディスクのモードは、「登録」に変わります。

2 **未登録のUSBハードディスクを選び、決定を押す**

3 **画面に表示される内容に従って、録画用に登録する**

ご注意

- **修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。**

USBハードディスクの詳細情報を見る

- 登録済または接続しているUSBハードディスクの詳細情報を確認することができます。

❶USB機器一覧で詳細情報を確認するUSBハードディスクを選び、赤を押す
- 詳細情報が表示されます。

USBハードディスクの表示名を変更する

- USBハードディスクの表示名を変更することができます。

❶USB機器一覧で表示名を変更するUSBハードディスクを選び、緑を押す
- 文字入力画面が表示されます。表示名を入力して、決定を押します。
- 文字入力方法については、39をご覧ください。
- ␣（スペース）だけの名称は登録できません
  ※ 録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

USBハードディスクを再登録する

- USBハードディスクを再登録すると、録画用として使用できます。
- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクを再登録すると、使用できるようになる場合があります。

※ **再登録をすると、USBハードディスクは初期化され、録画内容はすべて消去されます。**

❶USB機器一覧で再登録するUSBハードディスクを選び、決定を押す
- 録画用として再登録されます。

USBハードディスクの登録削除と取りはずし

登録を削除する

- 登録されているUSBハードディスクが、8台を越えるときは、使用しなくなったUSBハードディスクの登録を削除します。登録を削除されたUSBハードディスクは、未登録のUSBハードディスクになります。

❶USB機器一覧で登録を削除するUSBハードディスクを選び、黄を押す

USBハードディスクを取りはずす

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶USB機器一覧で取りはずすUSBハードディスクを選び、青を押す

- 本機の電源が「切」のときは、いつでもUSBハードディスクを取りはずすこともできます。

見ている番組を録画する

● 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
※ USBハードディスクで、すでに録画中の場合は、この操作はできません。

1 放送番組を見ているときに●録画を押す

● 録画が開始されます。
● 録画は、「録画ボタンを設定する」45ページ の設定に従って、自動停止します。
※ この操作での録画中に、予約した番組の録画が始まる場合、予約の録画が優先されます。
※ USBハードディスクの残量がなくなった場合は、録画が自動的に停止します。

録画を途中で止めるとき

● 録画を途中で止めるときは、以下の操作をします。

❶ ■ を押す

❷ 確認画面で「はい」を選び、決定を押す

録画モードについて

● 録画モードは「標準」（放送そのままの画質）になります。録画モードの変更はできません。

見ている番組を録画中にできる操作

● USBハードディスクに録画しながら、►/見開 を押すと、録画リストが表示されます。録画リストから録画中の番組を再生することができます。
※ 再生画像に影響が出る場合があります。

番組録画中の画面表示について

1 画面表示を押す

● USBハードディスクに録画している番組の情報が表示されます。
● 表示を消すには、画面表示をもう一度押します。

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクで録画・再生するための基本的な設定をします。

録画ボタンの設定をする

● 録画ボタンで録画するとき、録画を終了する時間の設定をします。

1 **[設定]を押し、▲・▼と(決定)で「機器設定」⇨「録画設定」に進む**

2 **「録画ボタン設定」で「番組終了」または「３時間録画」を選び、(決定)を押す**

- **番組終了**……… 録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、その番組が終了すると、自動で録画を停止します。
- **3時間録画**…… 録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、3時間が経過すると、自動で録画を停止します。

マジックチャプターの設定をする

● 番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けるための設定をします。

1 **[設定]を押し、▲・▼と(決定)で「機器設定」⇨「録画設定」に進む**

2 **「マジックチャプター」で「オン」または「オフ」を選び、(決定)を押す**

- **オン**………番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けます。（お買い上げ時の設定）
- **オフ**………自動でチャプターマークは付けません。

USBハードディスクが動作していないときに休止状態にする

● 本機に接続しているUSBハードディスクが動作していないとき、休止状態にします。

1 **[設定]を押し、▲・▼と(決定)で「機器設定」⇨「録画設定」に進む**

2 **「USB HDD機能待機」で「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン**………休止状態にしません。
- **オフ**………USBハードディスクがしばらく動作していないとき、休止状態にします。

● 「オフ」にすると、USBハードディスクの消費電力は低減しますが、録画・再生など、動作開始の準備にかかる時間が長くなります。

● 「オン」に切り換えたときは、再生や録画の操作を行うと設定が有効になります。または、電源を入れ直すと有効になります。

● USBハードディスクによっては、「USB HDD機能待機」を「オン」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって休止状態になる場合があります。

番組表で録画・予約をする

番組表で簡単に予約する

1 番組表 ◯ を押して番組表を表示させる

2 録画する番組を▲·▼·◀·▶で選び、●録画 を押す

- 現在選ばれている設定で録画予約が完了し、番組表の予約番組名の前に予約アイコンが表示されます。（放送中の番組の場合は、録画が開始されます）
- 録画先はUSBハードディスクになります。

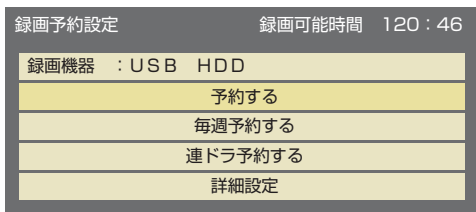
番組表で予約の基本操作

1 番組表 ◯ を押して、番組表を表示させる

2 録画する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 「番組内容」画面が表示されます。

3 「録画予約」を選び、決定 を押す

- 「録画設定予約」画面が表示されます。

- 「録画機器」が「USB HDD」のときは、**録画可能時間**が表示されます。

4 「録画機器」が録画用に登録されている機器になっていることを確認する

- 「機器設定」の「USB機器管理」 43 で確認できます。

5 「予約する」を選び、決定 を押す

- 予約が完了すると、予約完了のメッセージが表示されます（約5秒間）。
- 放送中の番組の場合は、録画が開始されます。
- 設定が終了したら、戻る ◯ を押します。

同じ番組や同じ時間帯の予約が重なっているとき

- 録画機器が「USB HDD」のとき、同じ番組の予約や同じ時間帯の予約が重なっていると、上記手順5で予約重複のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、以下の操作をします。

❶「はい」を選び、決定 を押す
- 「予約重複確認」画面が表示されます。

❷予約を取り消す番組を選び、黄 を押す

録画機器を変更する

- 録画機器を変更するときは、「番組表で予約の基本操作」手順4で以下の操作をします。

❶「詳細設定」を選び、決定 を押す

❷使用する録画機器を選び、決定 を押す

視聴予約をするとき

❶「番組表で予約の基本操作」手順3で「録画予約」の代わりに「視聴予約」を選び、決定 を押す

❷「番組表で予約の基本操作」手順5の操作をする

検索結果から予約をする

- ジャンルの検索 33 などの結果から、番組を予約します。

1 検索結果画面で録画する番組を選び、決定 を押す

2 「番組表で予約の基本操作」の手順3 ～ 5の操作をする

毎週予約をする

- 毎週予約は、設定した予約と同じ曜日、同じ時間帯の番組を毎回自動的に予約します。

1 「番組表で予約の基本操作」の手順1 ～ 4の操作をする

2 「毎週予約する」を選び、決定 を押す

3 確認画面で「はい」を選び、決定 を押す

- **予約をした後または録画中に、本機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。**

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては 48、49 を、予約の優先順位については 50 をご覧ください。
- 本機で「毎週予約する」で予約しても、機器によっては受け付けない（録画しない／録画機能が働かない）場合があります。

連ドラ予約をする

● 連ドラ予約は、放送日や放送時間が一定ではないシリーズの番組を、番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから自動検索し、本機が自動的に毎回予約を設定します。
※ 連ドラ予約は、最大24件まで設定できます。

1 「番組表で予約の基本操作」の手順1 ～ 4の操作をする

2 「連ドラ予約する」を選び、決定を押す

3 確認画面で「はい」を選び、決定を押す

連ドラ予約を一時的に解除する

● 留守などで、連ドラ予約を一時的に解除したいときに設定します。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「録画設定」に進む

2 「連ドラ予約」で「オフ」を選び、決定を押す
● 次回以降の放送は、連ドラ予約されません。
●「オン」を選ぶと、設定した内容で連ドラ予約が再開されます。

■ 連ドラ予約について
● 番組タイトルが、極端に短いと設定できない場合があります。
● 番組名が前回と大きく異なると、次回の放送を検索できない場合があります。
● 一つの「連ドラ予約する」からは、1日に1回だけ予約が設定されます。(同じ番組が1日に複数回放送される場合は、1回だけ予約を設定します)
● 録画機器の状態によっては、次回の予約が登録されなかったり、実行されなかったりする場合があります。(起動、終了処理中など)
● 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
● 次回の放送時間が90分以上前後すると、予約設定されない場合があります。
●「連ドラ予約する」または「毎週予約する」でUSBハードディスクに録画された番組は、「録画リスト」画面 51 で、まとめ番組として表示されます。

予約の詳細設定を変更する

● 予約の詳細設定を変更できます。

1 「番組表で予約の基本操作」の手順3の「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、決定を押す

2 設定を変更する
- **予約方式**………「視聴」または「録画」から選びます。
- **録画機器**………録画機器を選びます。
- **その他の設定**…「録画番組のプロテクト」(下の説明)設定ができます。
- **日時指定予約へ**…「日時指定予約」画面(48)が表示されます。

● 視聴予約のときは、「その他の設定」は選べません。

3 戻るを押して「録画予約設定」画面に戻る

4 「予約する」を選び、決定を押す
● 予約が完了すると、予約完了のメッセージが表示されます(約10秒間)。
● すでに予約した番組を変更したときは、「修正する」を選んで、決定を押します。

録画番組のプロテクト(保護)を設定する

● 大切な録画番組を間違えて消去しないように、プロテクト(保護)することができます。

1 「番組表で予約の基本操作」の手順3の「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、決定を押す

2 「その他の設定」を選び、決定を押す

3 「録画番組のプロテクト」で「する」を選ぶ
● 録画予約した番組がプロテクト(保護)され、録画した番組の消去 54 の操作をしても、消去されません。
● 消去できるようにするときは、「しない」を選びます。

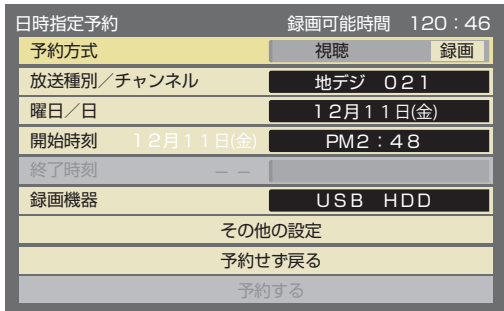
4 戻るを2回押して、「録画予約設定」画面に戻る

5 「予約する」を選び、決定を押す
● 予約が完了すると、予約完了のメッセージが表示されます(約10秒間)。
● すでに予約した番組を変更したときは、「修正する」を選んで、決定を押します。

日時を指定して予約をする

1 設定 を押し、▲･▼と 決定 で「タイマー設定」⇨「日時指定予約」に進む

- 「日時指定予約」画面が表示されます。
- 「日時指定予約」は、最大1年先までの予約ができます。

2 「日時指定予約」画面で予約の設定をする

- **予約方式**
  「視聴」または「録画」から選びます。
- **放送種別／チャンネル**
  決定 を押して、録画する放送とチャンネルを設定します。
- **曜日／日**
  予約する曜日と日を設定します。「毎日」、「毎週」も設定することができます。
- **開始時刻**
  予約を開始する時刻を設定します。
- **終了時刻**
  予約の終了時刻を設定します。
- **録画機器**
  録画する機器を選びます。
- **その他の設定**
  「録画番組のプロテクト」の設定ができます。47

3 「予約する」を選び、決定 を押す

- 確認画面またはエラー画面が表示された場合は、表示内容を確認して操作してください。
- 「曜日／日」が「毎日」または「毎週」で繰り返す設定になっていて、「録画機器」が「USB HDD」のときの録画番組は、「録画リスト」画面でまとめ番組として表示されます。

予約を確認する

予約リスト画面で確認する

1 クイック を押す

2 ▲･▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す

- 「予約リスト」画面が表示されます。

3 青 を押して通常予約番組の一覧を表示させる、または 赤 を押して連ドラ予約で予約された次回以降の番組の一覧を表示させる

- 動作前の予約と動作済の予約（履歴）がそれぞれ64件まで表示されます。

予約の状態を示すアイコンについて

- 「予約リスト」画面の右側に、予約の状態を示すアイコンが表示されます。
  - **録画**……………………録画予約した番組に表示されます。
  - **連ドラ予約**………連ドラ予約した番組に表示されます。
  - **次回未定**…………連ドラ予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき表示されます。
  - **視聴予約**…………視聴予約した番組に表示されます。
  - **済**………………………予約時間が終了した番組に表示されます。
  - **済　取消**…………取り消し操作をしたり、録画機器の状態によって録画が取り消されたりした番組に表示されます。
  - **済　おしらせ**……予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していないなどのときに表示されます。
  - **重複**…………………予約時間が重なっていたときの優先度が低い予約に表示されます。
  - **警告**…………………受信チャンネルの変更などで、予約が実行されないときに表示されます。
- その他、「毎日」、「毎週」など繰り返し指定の予約の場合、該当するアイコンが表示されます。

録画・予約・再生をする

予約の変更・削除をする

予約を変更する

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す

- 「予約リスト」画面が表示されます。

3 青 を押して通常予約番組のリストを表示させる、または 赤 を押して連ドラ予約で予約された次回以降の番組のリストを表示させる

- 動作前の予約と動作済の予約（履歴）がそれぞれ64件まで表示されます。

4 変更したい予約を選び、決定 を押す

5 「設定変更」を選び、決定 を押す

- 「設定変更」画面が表示されます。
- 「毎週」予約の番組を選んだときは、「日時指定予約」画面が表示されます。「日時を指定して予約する」 48 を参照して設定を変更します。
- 「予約削除」を選ぶと、予約が削除されます。
- 録画動作中の予約を選んだときは、「取り消し」を選ぶと録画を停止します。

6 設定を変更して、戻る を押す

7 「修正する」を選び、決定 を押す

- 変更した内容で予約が確定します。
- 予約重複のメッセージが表示されたときは、「はい」を選んで 決定 を押すと、「予約重複確認」画面で重複した予約番組を削除できます。

予約を削除する

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す

- 「予約リスト」画面が表示されます。

3 青 を押して通常予約番組のリストを表示させる、または 赤 を押して連ドラ予約で予約された次回以降の番組のリストを表示させる

- 動作前の予約と動作済の予約（履歴）がそれぞれ64件まで表示されます。

4 削除したい予約を選び、黄 を押す

- 「予約削除確認」画面が表示されます。
- 動作済の予約（履歴）を選んだ場合は、次の操作は必要ありません。動作済の予約（履歴）は、一括して削除することもできます。（下の説明）

5 「予約削除確認」画面で「はい」を選び、決定 を押す

- 連ドラ予約の予約番組を削除したときは、「予約設定削除確認」画面が表示されます。次回以降の連ドラ予約を完全に削除するときは、「はい」を選んで 決定 を押します。

動作済の予約（履歴）を一括で削除する

- 「予約リスト」画面に表示される、動作済の予約（履歴）を一括で削除することができます。

1 「予約リスト」画面を表示中に、クイック を押す

2 ▲·▼で「全履歴削除」を選び、決定 を押す

3 「確認画面」で「はい」を選び、決定 を押す

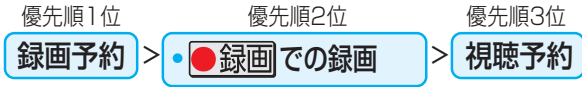
- 動作済の予約（履歴）が一括で削除されます。

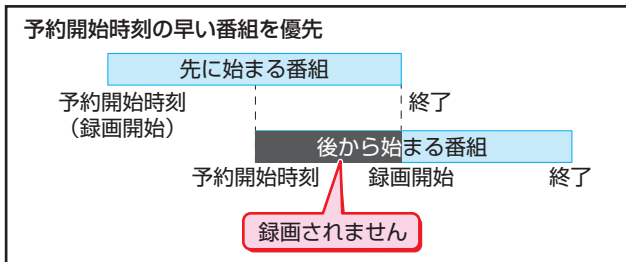
予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取消しになります。

優先順1位		優先順2位		優先順3位
録画予約	＞	・●録画での録画	＞	視聴予約

予約時間の一部が重なっているとき

- 先に予約開始時刻になった予約が終了時刻になるまでに、開始時刻になった後の予約は、先の予約終了時刻になるまで、予約を開始しません。先の予約が終了時刻になってから、後の予約が開始されます。

- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約1分が録画されません。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

予約した番組放送が始まるとき

- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わります。
- 視聴制限のある予約番組が始まるときは、メッセージが表示されます。決定を押し、暗証番号（73）を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「この操作を行うには、録画を中止する必要があります。録画予約が始まっているときは、予約中止されます。」または、「録画中は操作できません。」と表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

▼

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

再生の基本操作

● USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

1 録画リスト を押す

● 「録画リスト」画面が表示されます。

2 ◀·▶で見たい分類を選び、▲·▼で見たい番組を選んでから、決定を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。
● 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生するか(レジューム再生)、先頭から再生するかを選びます。選んだ状態の再生が始まります。
● 録画番組を最後まで再生し終わると、静止状態になり録画リストに戻ります。
● USBハードディスクに録画中に、録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。
● 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

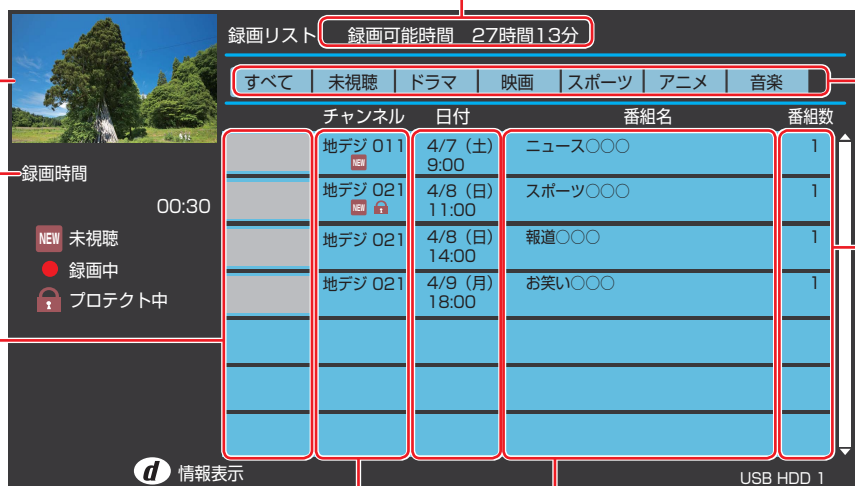
3 番組再生を停止するには、■を押す

● 放送画面に戻るときは、終了を押します。

録画番組の情報アイコンについて

● 「録画リスト」画面に表示される、番組情報のアイコンは以下になります。

アイコン	意味
NEW	未視聴
●	録画中
(鍵アイコン)	プロテクト(保護)中
まとめ	まとめ番組(再生のしかたは、52 をご覧ください)

「録画リスト」画面

■ 「録画リスト」画面について
● 録画開始直後の番組は、「録画リスト」画面に表示されるまでに少し時間がかかります。
● 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。
● USBハードディスクに録画中のときに録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。
● 「録画中」の番組を選んで[再生/早見早聞]ボタンを押すと、追っかけ再生を開始します。ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。

録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
▶/早見早聞	録画番組の再生を開始します。 • テレビ放送やビデオ入力のときに押すと、「録画リスト」画面が表示されます。前回、途中まで録画番組を見ていた場合は、先頭から再生するか見ていた場所から再生するかを確認する画面が表示されます。 • 再生中に3秒以上押すと、1.3倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」になり、もう一度押すと通常の再生に切り換わります。(USBハードディスクで録画中は、「早見早聞」再生はできません)
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中に押すと、再生が再開されます。 ▶/早見早聞 を押しても再生が再開されます。
■	再生を停止します。
長押し▶▶ ▶▶❙	• 再生中に約1秒間押すと、早送り再生をします。押したままにすると、早送りの速度が速くなります(5段階)。▶/早見早聞 を押すと、通常再生に戻ります。 • 再生中に短く押すと、次のチャプターの頭出しをします。さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。(次の番組の頭出しはしません)
◀◀長押し ❙◀◀	• 再生中に約1秒間押すと、早戻し再生をします。押したままにすると、早戻しの速度が速くなります(5段階)。▶/早見早聞 を押すと、通常再生に戻ります。 • 再生中に短く押すと、現在のチャプターの頭に戻ります。さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。(前の番組の頭出しはしません)
30秒送り	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
10秒戻し	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
録画リスト	再生中に押すと、「録画リスト」画面が表示されます。 • 放送番組視聴時に押した場合も「録画リスト」画面が表示されます。

● 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

まとめ番組を再生する

● 「録画リスト」画面でまとめ番組のアイコンが表示されている録画番組は、複数の番組が一つのグループにまとめられています。番組を選んで再生することができます。

1 「録画リスト」画面で、見たいまとめ番組を選び、決定を押す

● まとめられている番組の一覧画面が表示されます。

2 再生したい番組を選び、決定を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。

● 「毎週予約する」または「連ドラ予約する」でUSBハードディスクに録画された番組が、「録画リスト」画面でまとめ番組として表示されます。

チャプターを選んで再生する

● 再生したいチャプター（場面)を選んで再生します。

1 「録画リスト」画面で見たい番組を選び、緑を押す

● 「チャプター一覧」画面が表示されます。

2 ◀·▶で再生を開始したい場面を選び、決定を押す

● 選んだ場面からの再生が始まります。

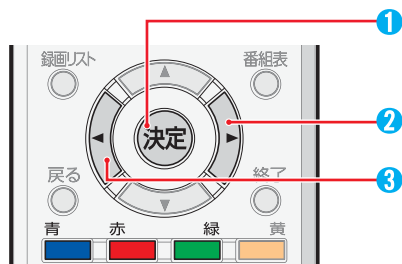
● まとめ番組では、チャプターを選ぶことはできません。

再生画面で操作する

再生画面の見かた

- 録画番組を再生すると、以下の再生画面が表示されます。
- USBハードディスクの録画番組を再生中は、数秒で画面表示が消えます。 画面表示 を押すと表示されます。

再生画面

操作について

❶ 決定 :
一時停止します。
一時停止中、早送り／早戻し中に押すと、再生に戻ります。

❷ ▶ :
再生中、早送り中に押します。
- 押すたびに早送りの速度が速くなります(5段階)。

❸ ◀ :
再生中、早戻し中に押します。
- 押すたびに早戻しの速度が速くなります(5段階)。

青 :
現在のチャプターの頭に戻ります。さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。(前の番組の頭出しはしません)

赤 :
次のチャプターの頭出しをします。さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。(次の番組の頭出しはしません)

緑 :
画面の下側にチャプター一覧が表示されます。

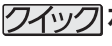
再生状態の表示について

- 再生状態の表示は、以下のように表示されます。

表示	状態
▶	再生中
1.3 倍速 ▶	早見早聞再生中
❚❚	一時停止中
▶▶ • • • • •	早送り中（5 段階）
• • • • ◀◀	早戻し中（5 段階）

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組を消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

1 録画リスト を押す
● 「録画リスト」画面が表示されます。

2 消したい番組を選び、黄 を押す
● プロテクト(保護)設定されている録画番組を消す場合は、プロテクト(保護)を解除してから 黄 を押します。

3 番組消去の確認画面で「はい」を選び、決定 を押す

複数の録画番組を消す

1 録画リスト を押す
● 「録画リスト」画面が表示されます。

2 消したい番組を選び、青 を押す
● 上記を繰り返して、消したい番組を複数選びます。

3 消したい番組を複数選んだら、黄 を押す
● プロテクト(保護)設定されている録画番組を消す場合は、プロテクト(保護)を解除してから 黄 を押します。

4 番組消去の確認画面で「はい」を選び、決定 を押す

誤って消さないようにプロテクト(保護)する

● 誤って消してしまったりしないように、録画番組をプロテクト(保護)することができます。
※ USBハードディスクで録画中の番組には、この操作はできません。

1 録画リスト を押す
● 「録画リスト」画面が表示されます。

2 プロテクト(保護)したい番組を選び、クイック を押す

3 「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す
● プロテクト(保護)が設定され、「録画リスト」画面に戻ります。
● プロテクト(保護)された番組には、 アイコンが表示されます。

プロテクト(保護)を解除する

● 手順**2**で、プロテクト(保護)されている番組を選びます。手順**3**の操作をすると、プロテクト(保護)が解除され、「録画リスト」画面の アイコンが消えます。

複数の録画番組を一括してプロテクト(保護)する

● 複数の録画番組を一度にプロテクト(保護)することができます。
※ USBハードディスクで録画中の番組には、この操作はできません。

1 録画リスト を押す
● 「録画リスト」画面が表示されます。

2 プロテクト(保護)したい番組を選び、青 を押す
● 上記を繰り返して、プロテクト(保護)したい番組を複数選びます。

3 クイック を押す

4 「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す
● 選んだすべての録画番組にプロテクト(保護)が設定されます。
● プロテクト(保護)された番組には、 アイコンが表示されます。

一括してプロテクト(保護)を解除する

● 手順**2**で、プロテクト(保護)されている番組を選びます。手順**4**で「プロテクト設定変更」を選ぶと、選んだすべての録画番組のプロテクト(保護)が解除されます。「録画リスト」画面の アイコンは消えます。

● **プロテクト(保護)されている録画番組でも、USBハードディスクの登録の操作をすると、初期化されるため、すべてのデータが消去されます。**

再生のさまざまな機能を使う

字幕言語を変更する

- 字幕を押して、字幕を表示させたときの字幕言語を選びます。

1 録画番組を再生中に、クイックを押す

2 「字幕言語」を選び、決定を押す

3 表示させる字幕言語を選び、決定を押す

音声を切り換える

- 録画番組で、複数の音声信号が記録されてる場合や、「主」／「副」の違う二重音声信号が記録されている場合に、音声を切り換えることができます。

音声信号を変更する

1 録画番組を再生中に、クイックを押す

2 「音声切換」を選び、決定を押す

3 出力する音声信号を選び、決定を押す
- 録画番組によって、選べる音声信号は異なります。

二重音声を切り換える

1 録画番組を再生中にクイックを押す

2 「二重音声」を選び、決定を押す

3 出力する音声を選び、決定を押す
- 「主」、「副」、「主＋副」から選べます。（録画番組によって異なります）

視聴制限を一時的に解除する

- 視聴制限されている録画番組のとき、一時的に解除することができます。

1 「録画リスト」画面を表示中、または録画番組を再生中に、クイックを押す

2 「視聴制限一時解除」を選び、決定を押す
- 制限を解除するための暗証番号の登録または入力画面が表示されます。

3 暗証番号の登録または入力をして、視聴制限を一時的に解除する

録画番組の番組名を変更する

- 録画番組の番組名を変更することができます。

1 「録画リスト」画面で、番組名を変更したい番組を選び、クイックを押す

2 「番組名編集」を選び、決定を押す

3 画面に表示される内容に従って、入力する
- 文字入力については、39をご覧ください。
- 番組名を変更しないで、「録画リスト」画面に戻るときは、戻るを押します。
- 「番組一覧」画面にチェックマークが一つでも表示されているときは、番組名の変更はできません。
- 以下の番組は、番組名を変更できません。
  - プロテクト（保護）されている番組
  - 録画中の番組
  - まとめ番組
    （まとめ番組に含まれる番組の番組名は変更できます）

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子（HDMI入力1～2、ビデオ入力）に接続したビデオや、DVD・ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」24 をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を繰り返し押す

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

放送→HDMI1→HDMI2→ビデオ

- 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする（飛ばす）ことができます。（「入力表示」（61）で変更することができます。）

3 決定 を押す

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。

- 本体の 機能切換 と ◎・◎ でも、「入力切換」ができます。29
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「入力表示」（61）をご覧ください。

HDMI連動機能について

HDMI連動機能(レグザリンク)でできること

- 本機は以下のHDMI連動機能(レグザリンク)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

- 本機に接続したHDMI連動機能(レグザリンク)対応の録画機器や再生機器、パソコンなどの操作が本機のリモコンでできます。58

電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

- **ワンタッチプレイ** ……… HDMI連動機能(レグザリンク)対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
- **システムスタンバイ** …… 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動機能(レグザリンク)対応の東芝レコーダー	レコーダーの接続：24 オーディオの接続：24 本機の設定：58	● **HDMI連動機能(レグザリンク)を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。** ● HDMI連動機能(レグザリンク)対応の東芝レコーダーについては、ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能(レグザリンク)では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機とHDMI連動機能(レグザリンク)対応の東芝レコーダーやパソコンなど東芝推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
- 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

- HDMI連動機能(レグザリンク)対応機器について、最新情報はホームページ (www.toshiba.co.jp/regza/) でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ システムスタンバイについて

- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 設定 を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「HDMI連動設定」に進む

2 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

HDMI連動設定

項目	設定
HDMI連動	オン
電源オン連動	オフ
電源オフ連動	オン
自動オフ	オフ
レコーダの操作	通常

3 希望の設定を▲·▼で選び、決定を押す

- 下の説明を参照して設定してください。

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

電源オン連動

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になる機能です。

電源オフ連動

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります）

自動オフ

- 使用していない連動機器の電源を個別に「切」にする機能です。入力を切り換えて使用が終了した機器の電源を、個別に「切」にします。
  ※ HDMI連動機能のレコーダーに対応しています。
  その他のHDMI連動機器の場合は、機器によって対応していない場合があります。

レコーダーの操作

- HDMI連動機能のレコーダーを操作するときに有効なボタンを追加するときは「拡大」に設定します。
  「拡大」に設定すると、以下のボタンが追加されます。
  - [チャンネル]、[1] ～ [12]、[番組表]、[データ]
    ※ 一部の機能が動作しない場合があります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

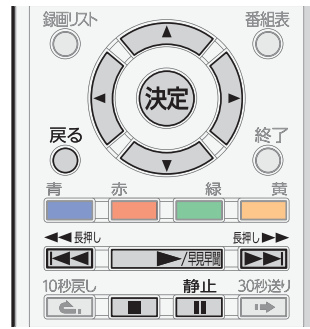
HDMI連動機能を選ぶ

1 入力切換 を繰り返し押して、HDMI連動機能（レグザリンク）対応機器が接続された入力（HDMI1 ～ 2）を選ぶ

2 クイック を押す

3 「HDMI機器操作」を選び、決定 を押す

● HDMI連動機能対応機器に対応した操作メニューが表示されます。

本機のリモコンでできるおもな操作

● 本機のリモコンで以下の操作をすることができます。

※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

ボタン	機能名・動作
▶/見る	再生を開始します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • ▶/見る を押すと再生が再開されます。
■	再生を停止します。
長押し▶▶ ▶▶❚	• 再生中に約1秒間押すと、早送り再生をします。 • 再生中に短く押すと、次のチャプターの頭出しをします。さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。
◀◀長押し ❚◀◀	• 再生中に約1秒間押すと、早戻し再生をします。 • 再生中に短く押すと、現在のチャプターの先頭に戻ります。さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭出しをします。
▲・▼・◀・▶	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。

本機のリモコンで対応機器を操作する つづき

機器を操作する

- 機器を操作するとHDMI機器操作メニューが消えます。HDMI機器操作メニューを再表示させるには、以下の操作をします。

❶ クイックを押し、「HDMI機器操作」を選んで決定を押す

レコーダー

- 次の操作をしたとき、自動的に本機の電源が「入」になり、同時にレコーダーが接続されている入力に切り換わり、レコーダーの画面が表示されます。
  - レコーダーを操作して、再生したとき
  - レコーダーのリモコンを操作して、レコーダーの操作画面が表示状態になったとき

その他の機器

- 本機のリモコンでレコーダー以外の他の機器(デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、プレーヤーなど)の画面を操作することができます。

1 HDMI端子に機器を接続する

2 機器の電源を入れる

- 本機の電源が「入」になります。同時に入力がHDMI(1または2)に切り換わり、機器の画面が表示されます。
- はじめて接続したときや、接続・設定を変更したときは、入力切換を押して機器が接続されているHDMI入力に切り換えてください。
- 操作中に、一時的に放送に切り換えた場合、機器の電源が入っていれば、「HDMI機器選択」(右の説明)から機器を選んで操作を再開することができます。

HDMI連動機器を切り換える

- 他のHDMI連動機能対応機器に切り換えます。

1 クイックを押す

2 ▲・▼と決定で「HDMI機器切換」⇨「HDMI機器選択」に進む

3 HDMI連動機器を選び、決定を押す

音声出力のしかたを選ぶ

- HDMI連動機能対応のAVアンプからの音声を、テレビで出力するか外部スピーカーから出力するかを選びます。

1 クイックを押す

2 ▲・▼と決定で「HDMI機器切換」⇨「スピーカー選択」に進む

3 「TV」または「外部」を選び、決定を押す

外部入力の機器の設定をする

● 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

1 設定 を押し、▲・▼と決定で「機器設定」⇨「表示の設定」に進む

2 「入力表示」を選び、決定を押す

3 機器を接続した入力端子を選び、決定を押す

4 機器に合わせた表示に設定して、決定を押す

使用しない外部入力をスキップする

● 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

1 設定 を押し、▲・▼と決定で「機器設定」⇨「表示の設定」に進む

2 「入力表示」を選び、決定を押す

3 スキップしたい入力端子を選び、決定を押す

4 「使用しない(スキップ)」を選び、決定を押す

● 「使用しない(スキップ)」に設定した外部入力は、入力切換 を押したときにスキップ(飛び越す)されます。

音声入力を設定する

● 本機のHDMI2端子に、DVI対応機器を接続したときの音声入力を設定します。

1 入力切換 を押して、HDMI入力にする

2 設定 を押し、▲・▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 「HDMI音声入力」を選び、決定を押す

4 「アナログ」を選び、決定を押す

● HDMI対応機器を接続するときは、「デジタル」を選びます。

デジタル音声出力を設定する

● 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定をします。

● オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。

1 入力切換 を押して、地デジ放送にする

2 設定 を押し、▲・▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 「デジタル音声出力」を選び、決定を押す

4 「オート」、「PCM」、「ビットストリーム」から選び、決定を押す

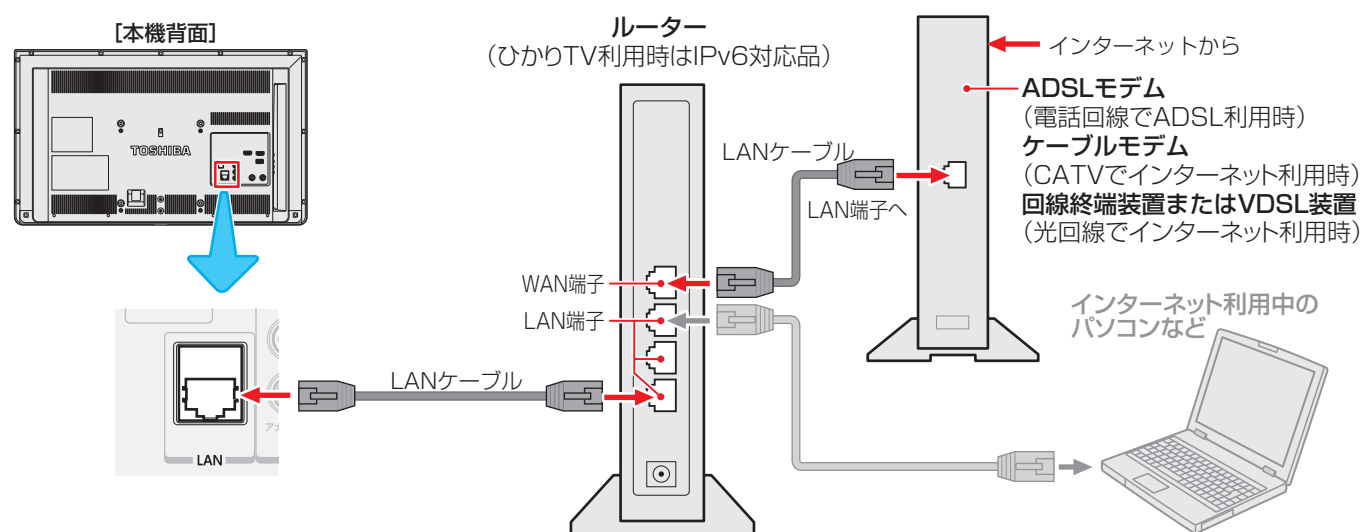
- **オート**……接続されている機器にあわせて、リニアPCM信号またはビットストリーム信号が出力されます。
- **PCM**……常にリニアPCM信号が出力されます。オーディオ機器がリニアPCM信号のみに対応してる場合は、この設定にします。
- **ビットストリーム**……常にビットストリーム信号が出力されます。オーディオ機器が、MPEG-2 AAC信号などのサラウンド音声に対応している場合に、この設定にします。
  この設定にしていて、オーディオ機器から音声が出ない場合は、「おまかせ」または「PCM」に設定してください。

インターネットを利用するための接続をする

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容	記載ページ
データ放送の双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。	34

接続のしかた

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて「通信設定」をしてください。

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- LANケーブルは、カテゴリ5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ･ビデオサービスや動画サービスなどを利用する場合、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

● お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 **設定 を押し、▲·▼と 決定 で「通信設定」⇨「ネットワーク接続」に進む**

2 **以降の手順で設定する**

●次ページの「お知らせ」もご覧ください。

IPアドレス設定

● インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶IPアドレスを自動取得できる場合は、◀·▶で「する」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

① ◀·▶で「しない」を選ぶ

② ▲·▼で「IPアドレス」を選び、1 ～ 10(0)で入力する

③ ▲·▼で「サブネットマスク」を選び、1 ～ 10(0)で入力する

④ ▲·▼で「ゲートウェイアドレス」を選び、1 ～ 10(0)で入力する

- ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、▶を押します。

❷ 決定 を押す

DNS設定

● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶DNSアドレスを自動取得できる場合は、◀·▶で「する」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

① ◀·▶で「しない」を選ぶ

② ▲·▼で「DNS」を選び、1 ～ 10(0)で入力する

- 0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、▶を押します。

❷ 決定 を押す

プロキシサーバー設定

● インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。

● ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。

● ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

❶▲·▼で「プロキシサーバー設定」を選び、決定 を押す

❷▲·▼で「プロキシアドレス」を選び、決定 を押す

❸HTTPプロキシアドレスを入力する

- 文字入力のしかたは、「文字を入力する」40☞をご覧ください。
- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の!"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{|}˜?_/です。

❹▲·▼で「プロキシポート番号」を選び、1 ～ 10(0)でポート番号を入力する

接続テストをする

● 設定が正しいかテストします。

1 **設定 を押し、▲·▼と 決定 で「通信設定」⇨「ネットワーク状態」に進む**

2 **「接続テスト」を選んで、決定 を押す**

● 接続テストが終了するまで、しばらくお待ちください。

● 正しく接続できない場合は、設定を確認して再度接続テストを行ってください。

ネットワーク情報を見る

● 現在利用しているネットワークの情報が表示されます。

1 **設定 を押し、▲·▼と 決定 で「通信設定」⇨「ネットワーク状態」に進む**

2 **「ネットワーク情報」を選んで、決定 を押す**

● ネットワーク情報が表示されます。

インターネットを利用するための設定をする つづき

■ IPアドレス設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
  (通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■ DNS設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■ ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
  (1) LAN端子の接続状態と「ネットワーク接続」を確認する
  - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

  (2) ネットワーク環境の接続確認
  - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

  ❶ パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
  ❷ URL欄に「www.toshiba.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する
  - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)

■ IPアドレス
インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例:111.112.xxx.xxx)

■ DNSサーバー
ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します(例:111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

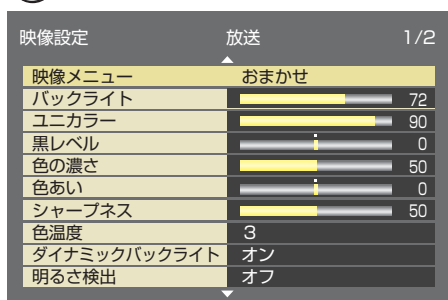
■ サブネットマスク
ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。(例:255.255.xxx.xxx)

■ ゲートウェイアドレス
ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。(例:111.112.xxx.xxx)

■ プロキシ
ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。(例:proxy.xxx.xxx.xxx)
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

■ MACアドレス
ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

お好みの映像に調整する

1 **設定 を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す**

2 **調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す**

- 調整項目は2ページに分かれています。▼を繰り返し押すと次のページが表示されます。

3 **以降の手順（66☞まで）でお好みの映像に調整する**

- 他の項目を調整するときは、手順**2**から繰り返します。

映像メニュー

- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像と各入力端子（HDMI1 ～ 2、ビデオ入力）の映像で別々に記憶されます。

❶ 決定を押す

❷ 好みの映像メニューを選び、決定を押す

- 選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー	内　容
おまかせ	周囲の明るさに合わせて常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	明暗のはっきりしたメリハリのある映像を楽しむのに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむのに適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
ライブプロ	暗くした部屋でテレビ番組を見るのに適した設定です。
映画プロ	映画などで、原画の再現性を重視した映像を楽しむのに適した設定です。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。（HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます）

バックライト

- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。（数値が大きくなるほど画面が明るくなります）

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

❶ ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。（数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります）

黒レベル

- 映像の暗い部分（黒）の再現性（明るさ）を調整します。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「－50」（暗く）～「＋50」（明るく）の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。（数値が大きくなるほど色が濃くなります）

色あい

- 肌の色に注目して、色合いを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す

- 「－50」（紫を強く）～「＋50」（緑を強く）の範囲で調整できます。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。（数値が大きくなるほど、くっきりした映像になります）

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

❶ ▲·▼で設定し、決定を押す

- 「5」～「1」の5段階から選びます。（調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系になり、大きくなるほど寒色系になります）

お好みの映像に調整する つづき

ダイナミックバックライト

● 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** …ダイナミックバックライトの機能が働きます。
- **オフ** …この機能は働きません。

明るさ検出

● 周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※「映像メニュー」 65 が「おまかせ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** ………明るさ検出機能が働きます。
- **オフ** ………この機能は働きません。

※「オン」に設定したときは、明るい場所や暗い場所で、映像を調整しても変化が少ない場合があります。

ダイナミックNR

● 映像のざらつきやちらつきを減らします。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート** ……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強、中、弱** …ダイナミックNRの効果が切り換わります。
- **オフ** ………この機能は働きません。

※ 通常は「オート」に設定してください。強くかけると残像が目立つ場合があります。

MPEG NR

● 動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭の周囲のノイズ）を減らす機能です。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **強、中、弱** …MPEG NRの効果が切り換わります。
- **オフ** ………この機能は働きません。

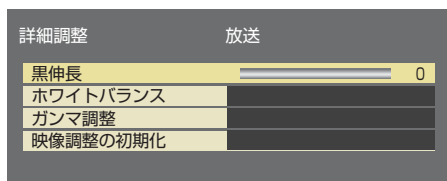
※ 効果を強くすると精細感をそこなう場合があります。

高度な設定をする

● 映像メニューが「あざやか」、「標準」、「ライブプロ」、「映画プロ」のときの映像を、より詳細に調整します。

❶「高度な設定」で「入」を選ぶ

❷ ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

● 詳細調整の画面が表示されます。

❸ 調整する項目を選んで調整する

黒伸長

● 中間より暗い部分の階調変化を調整します。

① ◀·▶でお好みに調整し、決定を押す

ホワイトバランス調整

● 赤、緑、青の信号のホワイトバランスを調整します。明るい部分、暗い部分それぞれを調整します。

① 決定を押す

② ▲·▼で調整する項目を選ぶ

③ ◀·▶でお好みに調整し、決定を押す

● ②と③を繰り返して調整します。

調整内容をお買い上げ時の状態に戻す

● ホワイトバランス調整の内容をお買い上げ時の設定・調整に戻します。

①「映像調整の初期化」を選び、決定を押す

②「はい」を選んで、決定を押す

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ▲·▼で設定値を選んで、決定を押す

● 数値が小さいほど、中間輝度が明るくなります。

調整内容をお買い上げ時の状態に戻す

● ガンマ調整の内容をお買い上げ時の設定・調整に戻します。

①「映像調整の初期化」を選び、決定を押す

②「はい」を選んで、決定を押す

映像調整の初期化

●「詳細調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

① 決定を押す

ファインシネマ

● 毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

● 設定は、放送及び入力信号ごとに記憶されます。

※ 1080i信号、480i信号のときに設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** …ファインシネマの機能が働きます。
- **オフ** …この機能は働きません。

※ 映像が不自然なときは、「オフ」に設定してください。

画面の設定

●「画面サイズを切り換える」（35）をご覧ください。

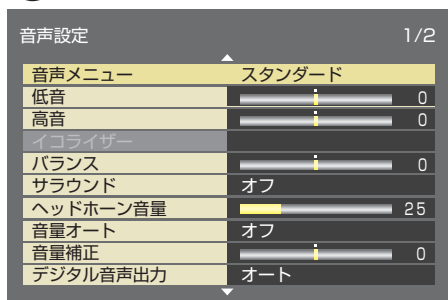
映像調整の初期化

●「映像設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

❶ 決定を押す

❷「はい」を選んで、決定を押す

お好みの音声に調整する

1 **設定 を押し、▲・▼で「音声設定」を選び、決定を押す**

2 **調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す**

- 調整項目は2ページに分かれています。▼を繰り返し押すと次のページが表示されます。

3 **以降の手順（68まで）でお好みの音声に調整する**

- 他の項目を調整するときは、手順**2**から繰り返します。

音声メニュー

- お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の映像と各入力端子（HDMI1 ～ 2、ビデオ入力）の音声で別々に記憶されます。

❶ **決定を押す**

❷ **好みの音声メニューを選び、決定を押す**

音声メニュー	内　容
スタンダード	全音域をバランスよく調整した音質です。
ミュージック	メリハリ感を強調した音質です。音楽番組のときなどに適した設定です。
クリア	人の声を聞きやすく調整した音質です。高齢の方にお勧めの設定です。
ユーザー	お好みに合わせて調整するモードです。

- 「低音」、「高音」、「バランス」、「サラウンド」は、音声メニューごとの調整になります。

低音

- 低音の強さを調整します。

❶ **◀・▶で調整し、決定を押す**

高音

- 高音の強さを調整します。

❶ **◀・▶で調整し、決定を押す**

イコライザー

- イコライザーの調整をします。
- イコライザーを調整するときは、「音声メニュー」を「ユーザー」に設定してください。

※ イコライザーの調整は、ヘッドホーン端子からの音声には働きません。

❶ **決定を押す**

❷ **調整する周波数を選び、お好みに調整して、戻るを押す**

調整内容をお買い上げ時の状態に戻す

- イコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

① **「調整の初期化」を選び、決定を押す**

② **「はい」を選んで、決定を押す**

バランス

- 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ **◀・▶で調整し、決定を押す**

- 「L15」（右を弱く）～「中央」（左右同じ）～「R15」（左を弱く）の範囲で調整できます。

サラウンド

- 臨場感あるサラウンド効果を楽しむときに設定します。
- サラウンド効果で楽しむときは、本体正面中央の位置で視聴すると効果的です。

※ モノラル音声には効果がありません。

❶ **◀・▶で以下から選び、決定を押す**

- **オン**････サラウンド機能が機能が働きます。
- **オフ**････この機能は働きません。

※ 音がひずむ場合は、「オフ」に設定してください。

ヘッドホーン音量

- ヘッドホーンの音量を調整します。

❶ **◀・▶で調整し、決定を押す**

音量オート

- 音の強弱を少なくして、音量の変化を抑えます。

❶ **◀・▶以下から選び、決定を押す**

- **オン**････小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整して音量の変化を抑えます。
- **オフ**････この機能は働きません。

音量補正

- 放送から外部入力に切り換えたときに、音量が変化することがあります。このようなときに、音量を補正することができます。
- 音量を調整したい放送または外部入力を視聴しているときに、操作します。

❶ **◀・▶で調整し、決定を押す**

お好みの音声に調整する つづき

デジタル音声出力

● 「デジタル音声出力を設定する」（61）をご覧ください。

HDMI音声入力

● 「音声入力を設定する」（61）をご覧ください。

ヘッドホーン出力モード

● 「ヘッドホーンで聴く」（37）をご覧ください。

音声調整の初期化

● 「音声設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

❶ 決定を押す

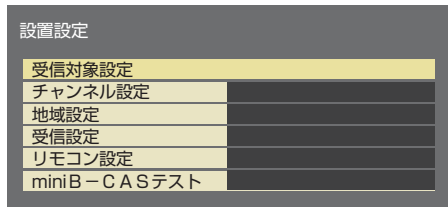
❷「はい」を選んで、決定を押す

アンテナを調整する

● テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルが最大になるように調整します。

地上デジタル放送用アンテナの場合

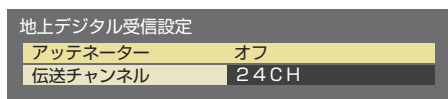
1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「受信設定」の順に進む

設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
地域設定
受信設定
リモコン設定
miniB－CASテスト

2 「地上」を選び、決定を押す

受信設定
地上
衛星

●「地上デジタル受信設定」画面が表示されます。

3 必要に応じて、決定と▲·▼を使って「アッテネーター」を設定する

地上デジタル受信設定	
アッテネーター	オフ
伝送チャンネル	24CH

● 放送の電波が強すぎて、映像が不安定になるときは、「オン」を選びます。電波を弱めて安定させます。

4 アンテナ(受信)レベルを確認する

● 受信の目安は44以上です。

5 「伝送チャンネル」を選び、決定を押す

6 チャンネルを選び、決定を押す

● お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます。(お買い上げの販売店などにお聞きください)

7 アンテナの向きを調整し、アンテナ(受信)レベルを最大値にする

● アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

※ **高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については、販売店にご相談ください。**

8 アンテナを固定する

BS・110度CSデジタル放送用アンテナの場合

1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「受信設定」の順に進む

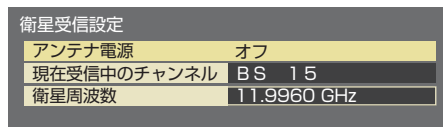
2 「衛星」を選び、決定を押す

●「衛星受信設定」画面が表示されます。

3 決定と▲·▼を使って、「アンテナ電源」を設定する

● BS · 110度CS用アンテナに電源を供給するときは、「オン」に設定します。

● 他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「オフ」に設定します。

衛星受信設定	
アンテナ電源	オフ
現在受信中のチャンネル	BS　15
衛星周波数	11.9960 GHz

※「現在の受信中チャンネル」、「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなる場合があります。放送局などから案内が無い限り、変更しないでください。

4 アンテナ(受信)レベルを確認する

● 受信の目安は50以上です。

5 アンテナの向きを調整し、アンテナ(受信)レベルを最大値にする

● アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

※ **高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については、販売店にご相談ください。**

6 アンテナを固定する

● アンテナレベルの数値は、受信C/Nを換算したものです。(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)

● BS · 110度CS用アンテナのレベル表示画面に、アンテナがショートしてる旨のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。

●「アンテナ電源」を「オン」に設定した場合でも、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません。(BS · 110度CSデジタル放送を録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

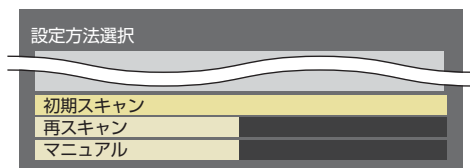
● 地上デジタル放送には以下の２種類のチャンネル自動設定機能があります。
- **初期スキャン**·····「かんたん設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
- **再スキャン**·········放送局がふえたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

● 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（1～12）に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル」の順に進む**

● 「設定方法選択」画面が表示されます。

● 画面の説明をよくお読みください。

2 **「初期スキャン」を選び、決定を押す**

3 **「地域選択」を選び、決定を押す**

4 **お住まいの地域を選び、決定を押す**

● 地上デジタル放送のチャンネル設定をするには、お住まいの地域の設定が必要です。

5 **「次へ」を選び、決定を押す**

6 **「UHF」または「全体域」を選び、決定を押す**

● 通常は「UHF」を選びます。
● 「全体域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。

7 **決定を押す**

● 初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
●スキャン中は、映像が乱れることがあります。
● 初期スキャンを行うと、それまでのチャンネル設定の内容がすべて上書きされます。
● 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「アッテネーター」を「オン」に設定してから、初期スキャンをやり直します。

8 **設定内容を確認したら、戻るを押して終了する**

再スキャンをするとき

● 新たに放送局が開局してチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル」の順に進む**

2 **「再スキャン」を選び、決定を押す**

● 再スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
● 再スキャンが終了すると、新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

3 **設定内容を確認したら、戻るを押して終了する**

チャンネルをお好みにマニュアル(手動)で設定する

● お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン(1～12)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
● はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「マニュアル」はできません。

地上デジタル放送のとき

1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル」の順に進む

2 「マニュアル」を選び、決定を押す

3 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、決定を押す

4 「CH」のチャンネル番号を変更する

5 設定内容を確認したら、戻るを押して終了する

BS・110度CSデジタル放送のとき

● BS・110度CSデジタル放送のチャンネルは、お買い上げ時に設定されています。リモコンの数字ボタンへの割り当てを変更するときに、以下の操作をします。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」の順に進む

2 「BS」または「CS」を選び、決定を押す

3 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、決定を押す

4 「CH」のチャンネル番号を変更する

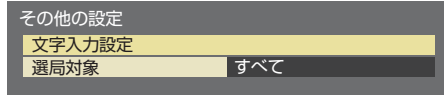
5 設定内容を確認したら、戻るを押して終了する

行を入れ換えたいとき

❶ 地上デジタル放送のとき」手順2、「BS・110度CSデジタル放送のとき」手順2 の操作後、緑を押す
❷ ▲·▼で入れ換えたい行を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で入れ換え先の行を選び、決定を押す
❹ 行の入れ換えが終了したら、戻るを押す

選局対象を選ぶ

● チャンネル∧∨で選局するときに、選べる対象を設定することができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「その他の設定」の順に進む

2 「選局対象」を選び、決定と▲·▼で設定をする

- 設定チャンネル……リモコンの数字ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定されたチャンネルが対象になります。
- テレビ……テレビ放送(映像＋音声)のチャンネルのみが対象になります。
- すべて……現在放送されているすべてのチャンネルが、対象になります。

● マニュアル(手動)で設定したあとに、「初期スキャン」や「かんたん設定」をすると、マニュアル(手動)で設定した内容が消えますので再度設定をしてください。

データ放送の設定をする

お住まいの地域と郵便番号を設定する

● お住まいの地域に応じたデータ放送を視聴するための設定です。
●「かんたん設定」で設定した状態から変更したいときに、以下の操作をします。

1 **設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「地域設定」の順に進む**

2 **「県域設定」を選び、お住まいの地域を設定する**
● 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
● 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

3 **「郵便番号」を選び、郵便番号を入力する**
● リモコンの[1]～[10](0)ボタンを使って入力します。
● 間違えて入力したときは、黄 を押します。

4 **設定が終了したら、戻る を押る**

ルート証明書の番号を確認する

● 地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
● ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。

1 **設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む**

2 **「ルート証明書」を選び、決定 を押す**
● ルート証明書情報が表示されます。
● 内容を確認したら、終了 を押します。

■ **ルート証明書**　サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

■ **郵便番号と地域の設定について**
● データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局し直してください。

視聴できる番組を制限する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定情報のリセット」75 をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。

※ 必要でない場合は登録しないことをおすすめします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「視聴制限設定」の順に進む
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 登録したい暗証番号を 1 ～ 10(0) で入力する
- 間違えて入力した場合は、戻る を押して、もう一度入力し直します。
- 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

3 1 ～ 10(0) でもう一度同じ暗証番号を入力する

4 「視聴年齢制限設定」を選び、設定する
- 制限できる年齢は、「4才」～「19才」と「無制限」です。（お買い上げ時は、「4才」に設定されています）
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで、「．．．．」と表示されます。

暗証番号を変更するとき

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「視聴制限設定」の順に進む
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 1 ～ 10(0) で暗証番号を入力する

3 「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

4 1 ～ 10(0) で新しい暗証番号を入力する

5 手順4で入力した暗証番号を、もう一度入力する

暗証番号を削除するとき

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「視聴制限設定」の順に進む
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 1 ～ 10(0) で暗証番号を入力する

3 「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

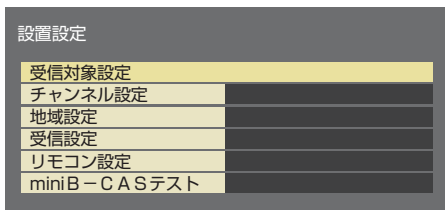
4 「はい」を選び、決定 を押す
- 視聴制限などの制限項目が解除されます。

リモコンの設定を変更する

2台のテレビをそれぞれのリモコンで操作する

● 同じ室内で東芝製のテレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンモードの設定を変えると1台だけが操作できるようになります。

※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「リモコン設定」の順に進む

2 「受信リモコンモード設定」を選び、決定 を押す

3 「リモコンモード」で、決定 を押す

4 本体側のリモコンモードを選び、決定 を押す

5 リモコンモードを設定する

■ リモコンモード1に設定する場合：

決定、1 を同時に約3秒間以上押し続ける

■ リモコンモード2に設定する場合：

決定、2 を同時に約3秒間以上押し続ける

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

6 本体のリモコン受光部に向けて、決定 を押す

リモコンモードエラー表示を設定する

● テレビ本体の設定と異なるリモコンモードを連続して受信したときに、エラー画面を表示させることができます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「リモコン設定」の順に進む

2 「リモコンモードエラー表示」を選び、設定する

● 「オン」に設定すると、エラーを表示します。

使わない放送選択ボタンの操作を無効にする

● リモコンの放送選択ボタン BS 、CS のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「設置設定」⇨「受信対象設定」の順に進む

2 視聴しない放送(BSまたはCS)を選び、「使わない」に設定する

● テレビ本体とリモコンのリモコンモードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンの 電源 を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンモードを変更してください。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定情報を初期化するには）

● お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

※ **初期化をすると、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）もすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。**

※ USBハードディスクの登録情報も消去されます。本機で使用していたUSBハードディスクの録画番組の再生もできなくなります。

※ 視聴制限設定の暗証番号は消去されません。「暗証番号削除」で消去してください。

※ 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作で放送局に登録された情報は、この操作では消去されません。それぞれのサービスで情報の消去作業（退会手続きなど）を行ってください。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む

システム設定

設定情報リセット	
放送メール	
miniB−CAS情報	
ボード	
放送ダウンロードの予約	自動ダウンロード
ライセンス情報	
ルート証明書	

2 「設定情報リセット」を選び、決定 を押す

3 確認画面で「はい」を選び、決定 を押す

● 画面に表示される内容に従って、操作します。
● いったん画面が暗くなります。
「お買い上げ設定」画面が表示されるまで、本体の電源を「切」にしないでください。

4 「お買い上げ設定」画面が表示されたら、本体の電源を「切」にする

設定メニュー一覧

- 下記設定メニュー一覧は、メニューの一部を記載しています。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。

メニュー

映像設定

- 映像メニュー
- バックライト
- ユニカラー
- 黒レベル
- 色の濃さ
- 色あい
- シャープネス
- 色温度
- ダイナミックバックライト
- 明るさ検出
- ダイナミック NR
- MPEG NR
- 高度な設定
- 詳細調整
  - 黒伸長
  - ホワイトバランス調整
  - ガンマ調整
  - 映像調整の初期化
- ファインシネマ
- 画面の設定
  - 画面サイズ切換
  - オーバースキャン
  - 左右振幅切換
  - 上下画面調整
  - SD 画面モード設定
- 映像調整の初期化

音声設定

- 音声メニュー
- 低音
- 高音
- イコライザー
- バランス
- サラウンド
- ヘッドホーン音量
- 音声オート
- 音量補正
- デジタル音声出力
- HDMI 音声入力
- ヘッドホーン出力モード
- 音声調整の初期化

通信設定

- ネットワーク接続
- ネットワーク状態
  - 接続テスト
  - ネットワーク情報

タイマー設定

- 日時指定予約
- オンタイマー
- 無操作オフ
- 無信号オフ

機器設定

- USB 機器管理
- 録画設定
  - 連ドラ予約
  - 録画ボタン設定
  - マジックチャプター
  - USB HDD 機能待機
- 視聴制限設定
- 表示の設定
  - 字幕の設定
  - 入力表示
  - タイトル表示
- HDMI 連動設定
  - HDMI 連動
  - 電源オン連動
  - 電源オフ連動
  - 自動オフ
  - レコーダの操作
- かんたん設定
  - 画質設定
  - 郵便番号
  - 県域設定
  - miniB-CAS カードテスト
  - 地上デジタルチャンネル設定
  - 衛星アンテナ設定
- 設置設定
  - 受信対象設定
  - チャンネル設定
  - 地域設定
  - 受信設定
  - リモコン設定
  - miniB-CAS テスト
- システム設定
  - 設定情報リセット
  - 放送メール
  - miniB-CAS 情報
  - ボード
  - 放送ダウンロードの予約
  - ライセンス情報
  - ルート証明書
- その他の設定
  - 文字入力設定
  - 選局対象

機器情報

- ID 表示

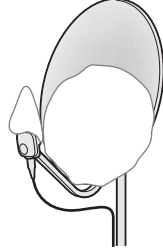
こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている

大雪が降っている

アンテナに雪が積もっている

放送が受信できません。

1. テレビ背面と壁面のアンテナ線の接続を確認してください
2. リモコンで見たい放送（地デジ BS CS）ボタンを押してください
3. リモコンの 青 ボタンを押してアンテナレベルを確認してください

コード ： E202

現在放送されていません。

コード ： E203

本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状で調べる

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体の電源ボタンを長押ししてリセットする
❶電源プラグをコンセントから抜く ❷1分間以上待つ ❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ❷本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す 23S8、32S8 40S8

症状に合わせて解決法を調べる つづき

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	–
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	26
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	–

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	26
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	25
リモコンの乾電池の向き（＋、－）が合っていますか。	• 向き（＋、－）を確認し、正しく入れてください。	25
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	–

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※屋外の接続については、販売店にご相談ください。	22
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	–
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	–
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	
電波が弱くありませんか	• アンテナレベルを確認します。 • アンテナの向きを調整してみます。（販売店にご相談ください）	69
アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	• 確認して、しっかりと接続します。	23
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	• 販売店にご相談ください。	

接続した機器の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	24
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	–
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• リモコンの**入力切換**で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	56

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ」を選択してみます。 •「バックライト」で適切な明るさに調整します。	65 65
映像メニューが「おまかせ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。	• 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	14

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	65

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－で音量を上げます。	29
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。 （＋音量－でも解除されます）	29
「スピーカ選択」が「外部」になっていませんか。	クイックメニューの「スピーカー選択」で「TV」に設定します。	60

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	•「アンテナを調整する」の操作でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	69
「初期スキャン」をしましたか。	•「初期スキャン」をします。	70
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（www.dpa.or.jp/）で確認することもできます。	－
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）	－

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後、「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をします。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をします。	70

症状に合わせて解決法を調べる つづき

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	23
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ※ 同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。	−
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ） • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	23

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	− 32

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「選局対象」を「設定チャンネル」または「テレビ」に設定していませんか。	• 「選局対象」を「すべて」に設定します。	71

お知らせアイコンが消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「放送メール」の内容を確認しましたか。	• 「機器設定」⇨「システム設定」⇨「放送メール」で内容を確認します。 ※ 未読の放送メールが１件でも残っていると、アイコンは消えません。	86

録画・再生

USBハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	• 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています） ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	−
機器が正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクを接続する」に従って、正しく接続します。	42
機器の電源がはいっていますか。	• USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	−
機器が本機に登録されていますか。	• USBハードディスクを本機に登録します。	43

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認する。 • 不要な番組を削除する。	51☞ 54☞
コピー禁止の番組ではありませんか	• 録画はできません。	–
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットサービスの映像などではありませんか。	• 本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	–
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	• 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。	–

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	• 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。	–

テレビで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません。（同じ形名のほかのテレビでも再生できません）	–

レグザリンク機能（HDMI連動）

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。	24☞
推奨機器（対応機器）ですか。	• ホームページ www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています。 ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	–
本機と接続機器の設定は正しいですか。	• 接続機器側の連動設定を確認します。（機器の取扱説明書を参照してください） • 本機の「機器設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。	–

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「降雨対応放送に切り換わりました。(Ｅ２０１)」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	自動的に降雨対応放送に切り換わります。気象条件の回復などで信号レベルが上がると、通常の放送に戻ります。	－
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(Ｅ２０２)」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください) • BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	22 69
「現在、このチャンネルは放送を休止しています。(Ｅ２０３)」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	－
「このボタンにチャンネルは設定されていません。」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	－
「Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください。 挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて差し直してください。」	• miniB-CASカードが挿入されていない。 • miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 • miniB-CASカードの金色端子部がよごれていませんか。	• miniB-CASカードを挿入します。 • miniB-CASカードを正しく挿入します。 • きれいな乾いた布で金色端子部のよごれを拭き取ります。	19

困ったときは

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「USB機器が見つかりません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	−
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	−
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	−
「再生できません。」	本機で対応しているフォーマットではない。	本機では再生できません。	−
「番組情報が取得できないため録画できませんでした。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	−	−
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	−
「録画・再生用のHDDがありません。」	USBハードディスクを登録していない。	• USBハードディスクを接続しなおして登録します。 • 登録されたUSBハードディスクを接続します。	43
「録画中は操作できません。」	USBハードディスクの録画が停止していない。	• USBハードディスクの録画を停止します。 • 録画が完了するまで待ちます。	44
「この操作を行うには、録画を中止する必要があります。録画を中止しますか？」	録画中に選局操作を行った。	• USBハードディスクの録画を停止します。 • 録画が完了するまでまで待ちます。	44
「HDDがいっぱいのため、録画できません。」	USBハードディスクの容量が不足している。	• 不要な番組を削除します。 • 新しいUSBハードディスクを使用します。	54
「番組情報が取得できないため録画できませんでした。」	「録画ボタン設定」を「番組終了」に設定しているため、番組情報が取得できず番組の終了時刻が確認できない。	• 「録画ボタン設定」を「３時間録画」にします。 • 番組情報が取得できるまで待ってから操作します。	45

エラーメッセージが表示されたとき つづき

インターネットに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「家庭内ネットワークへの接続に失敗しました。ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認してください。」	• ルータと通信ができない。 • IPアドレスが間違えて設定されている。 • DNSアドレスが間違えて設定さてている。	• ルータとの接続やネットワークケーブルの接続を確認します。 • IPアドレスを正しく設定します。 • DNSアドレスを正しく設定します。	62 63
「不正な値です。再度入力してください。」	IPアドレス、DNSアドレスの設定値が正しくない。	IPアドレス、DNSアドレスが正しく設定されているか確認します。	63

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

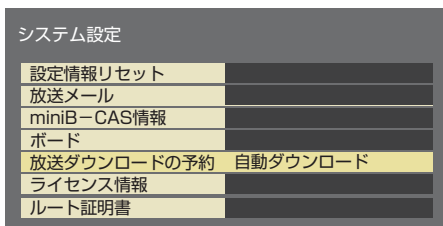
- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(www.toshiba.co.jp/regza/support/)でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。

放送ダウンロードの予約をする

- デジタル放送で送られてくる、新しい情報のダウンロードの予約方法を設定します。

※ ソフトウェアの更新中は、視聴予約は実行されません。

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む**

2 **「放送ダウンロードの予約」を選び、決定を押す**

3 **「自動ダウンロード」または「手動ダウンロード」を選び、決定を押す**

- **自動ダウンロード**……情報が届いた場合、リモコンで電源が「待機」になっているときに、自動でダウンロードを実行します。通常はこの設定にして置きます。
- **手動ダウンロード**……情報が届いた場合、放送メール(86)でお知らせします。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 **設定を押し、▲·▼と決定で「機器情報」⇨「ID表示」の順に進み、「バージョン」を確認する**

■ **ダウンロード**
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

- 更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、BSデジタル放送または地上デジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。(情報を確認する操作はありません)
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」(リモコンで電源を切った状態)のときに行われます。
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。

いろいろな情報を見る

放送メールを見る

● 放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)やダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む

2 「放送メール」を選び、決定 を押す

3 読みたい放送メール選び、決定 を押す

● お知らせメールの内容が表示されます。

110度CSデジタル放送からの情報を確認する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む

2 「ボード」を選び、決定 を押す

3 「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、決定 を押す

4 読みたい情報を選び、決定 を押す

● ボードの内容が表示されます。

miniB-CASカードの情報を確認する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」の順に進む

2 「miniB-CAS情報」を選び、決定 を押す

● カード情報が表示されます。

miniB-CASカードの動作を確認する

● miniB-CASカードを挿入後、3秒以上経過してから操作してください。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「設置設定」の順に進む

2 「miniB-CASテスト」を選び、決定 を押す

● 「NG」が表示されたら、miniB-CASカードを確認してから、再度挿入してください。

ソフトウェアのライセンスを確認する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「機器設定」⇨「システム設定」⇨「ライセンス情報」の順に進む

2 「ソフト情報表示」を選び、決定 を押す

お手入れについて

⚠注意

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

お手入れの際のご注意

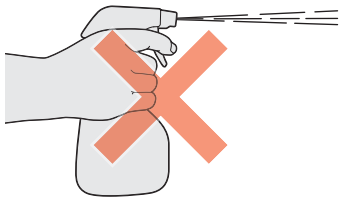
ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押したりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。

※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。

※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る

よごれが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、よごれをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。

※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。

※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

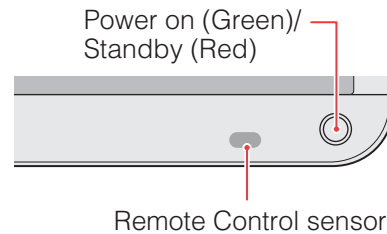
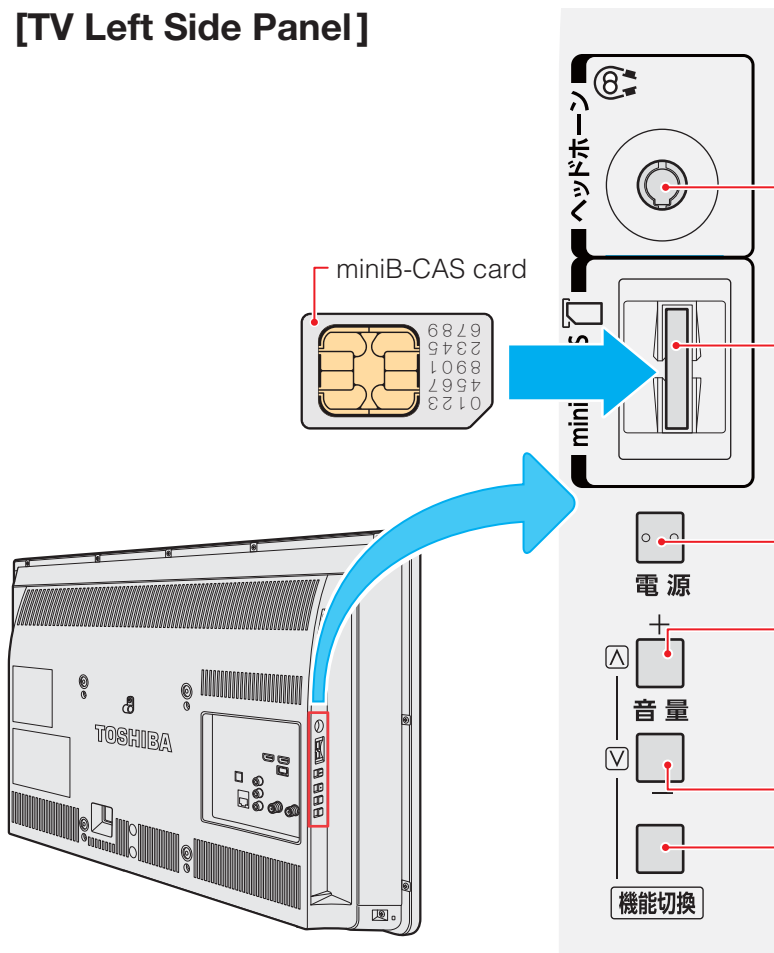
※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

Basic Operations

[TV Front Panel]

- **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Left Side Panel]

ヘッドホーン

Headphone jack

miniB-CAS card

miniB-CAS card slot

- **To view digital broadcasting programs, insert the miniB-CAS card into the card slot. (Without miniB-CAS card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

電 源

- **Press to turn the TV set on and off.**

音 量

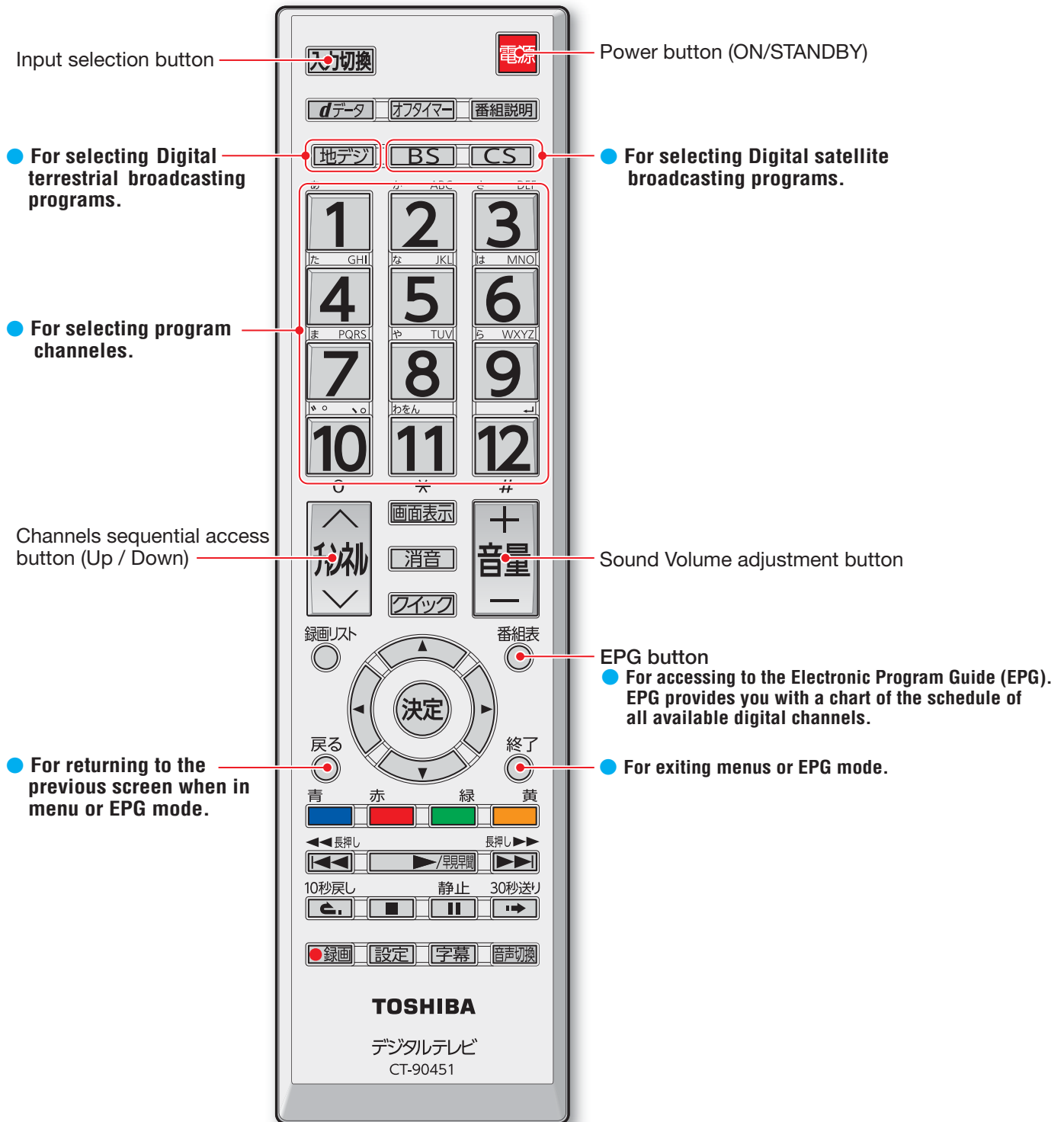
For adjusting the volume.

機能切換

For switching function.

- For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]

その他

アイコン一覧

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	未読の「おしらせ」	重複	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	既読の「おしらせ」	月~土	毎週、毎日、曜日指定での予約
視聴予約	視聴予約	月~金	
録画 USB HDD	録画予約	毎日	
連ドラ予約★	連ドラ予約	毎週	
	録画中		録画番組が「保護」対象
REC	録画準備中	d データ	データの取得中です。
済 おしらせ	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		地上デジタル放送で双方向方向サービスに連動している場合、SSL などの暗号通信をしているとき、表示されます。34

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- パソコンを接続する場合は、リフレッシュレートを60Hzに設定してください。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

仕様

項目		23S8	32S8	40S8
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ		
形名		23S8	32S8	40S8
受信機型サイズ		23V	32V	40V
電源		AC 100V 50/60Hz共用		
消費電力		41W 電源「待機」時 0.3W、 電源「切」時 0.2W、 (機能動作時 6W)※1	61W 電源「待機」時 0.2W、 電源「切」時 0.15W、 (機能動作時 6W)※1	71W 電源「待機」時 0.2W、 電源「切」時 0.15W、 (機能動作時 9W)※1
年間消費電力量［標準］時		31kWh/年	42kWh/年	52kWh/年
区分名		DK（FHD以外、液晶ノーマル、 付加機能なし）	DN（FHD以外、液晶ノーマル、 付加機能なし）	DF（FHD、液晶ノーマル、 付加機能なし）
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	54.5 (54.5)cm	73.4 (73.4)cm	92.7 (92.7)cm
	高さ	38.8 (33.4)cm	48.9 (43.8)cm	58.8 (54.9)cm
	奥行	16.3 (5.5)cm	18.0 (8.4)cm	19.4 (6.8)cm
スタンドを含む質量（ ）は本体のみ		3.5(3.1)kg	6.5(5.5)kg	10(9.5)kg
液晶画面	画面寸法	幅50.8cm、高さ28.6cm、 対角58.3cm	幅69.8cm、高さ39.2cm、 対角80.0cm	幅88.6cm、高さ49.8cm、 対角101.6cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平1366×垂直768		水平1920×垂直1080
受信チャンネル		地上デジタル：VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63) BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999		
スピーカー		3.5cm×5.5cm 2個	4.0cm×12.0cm 2個	
音声出力		実用最大出力 5W+5W (総合音声出力 10W) (JEITA)	実用最大出力 7W+7W (総合音声出力 14W) (JEITA)	実用最大出力 7W+7W (総合音声出力 14W) (JEITA)
入力・出力端子	HDMI入力1～2	HDMI（Lip Sync、ARC※2）		
	ビデオ入力	映像：1V (p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声：最大2V (rms)、22kΩ以上(ピンジャック)		
	USB(録画用)端子	USB2.0		
	LAN端子	RJ-45		
	ヘッドホーン出力端子	口径3.5mmステレオミニジャック、音声出力：最大1V (rms)、10kΩ以上		
	光デジタル音声出力端子	トスリンク		
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）		
付属品		「付属品を確認する」(8)をご覧ください。		

※1：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。

- 番組情報などを取得しているとき

※2：ARC機能はHDMI入力1端子のみ対応しています。

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ（32Ｖなど）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

ライセンスおよび商標などについて

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- トスリンクは株式会社東芝の登録商標です。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

さくいん

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」 【受付時間】365日／9:00~20:00

メモ

形名		製造番号								

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クーローナシ）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、 販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
miniB-CASカードは、保証の対象から除きます。

● 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
● 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上·BS·110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	23S8、32S8、40S8
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　ー

廃棄時にご注意願います

● 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際 このような症状はありませんか？

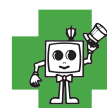
● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

東芝ライフスタイル株式会社

〒198-8710 東京都青梅市末広町2−9

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

● 製品に付属されている取扱説明書はモノクロ印刷です。

TD/O VX1A00300900